

1/10 scale Gas Powered 4WD Touring Car

YOKOMO GT-4W MANUAL 2000.5.18

GT-4W

GAS POWERED 4WD TOURING CAR



CHASSIS DIMENSIONS

LENGTH	全長.....	390 mm
WIDTH	全幅.....	198 mm
HEIGHT	全高.....	105 mm
WHEEL BASE	ホイールベース.....	258 mm
TREAD	トレッド.....	172 mm
GEAR RATIO	ギヤレシオ 1速	4.730 : 1
	2速	6.000 : 1
WEIGHT	全備重量	1780 g

YOKOMO
WORLD CHAMPIONS R/C CAR CONSTRUCTOR YOKOMO LTD. JAPAN

この度はヨコモ製R/Cカーを買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛ぶ危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走することがあります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーはエンジン、マフラー、シャーシー各部が高温になりますので危険です。冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。
- 燃料には模型用グロー燃料をご使用ください。燃料には有害な物質が含まれていますので蒸気、排気ガスは吸引しないでください。事故につながる恐れがありますので使用にあたっては屋外か換気設備が十分な場所で行ってください。
- 燃料の保管は直射日光の当たらない風通しの良い所で、幼児や子供の手の届かない冷暗所に保管してください。

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [GT-4W] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ (2サーボ 別電源仕様)
**TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL**
- 模型用グロー燃料
RC CAR FUEL
- エンジンスターター(プルスターター仕様は不要)
ENGINE STARTER
- プラグヒート及びヒート用バッテリー
GLOW PLUG IGNITER
- 走行用ボディー(ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 袋以外の箱に入っている物 ■

PARTS INCLUDED IN KIT

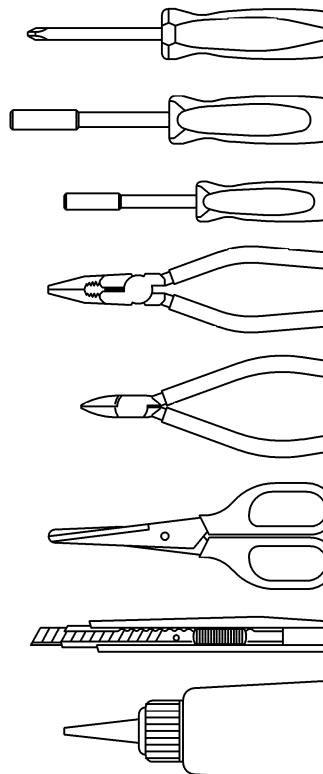
- ボディー(ボディー付キットの場合)
BODY
- バンパー
BUMPER
- ホイール、タイヤ
WHEELS, TIRES
- メインシャーシ
MAIN CHASSIS
- ショックオイル
SHOCK OIL

GT-4Wの性能を十分に発揮させる為に、組立ては図を良く見て説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your GT-4W will perform at its best!!

■ 別途用意する工具 ■

ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



ドライバー (大,小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)

ボックスレンチ (7.0mm)
NUT DRIVER (7.0mm)

ボックスレンチ (5.5mm)
NUT DRIVER (5.5mm)

ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS

ニッパー
SIDE CUTTER

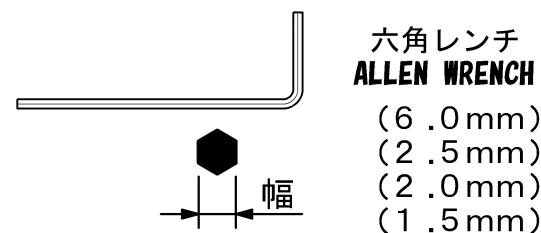
ハサミ
SCISSORS

カッター
HOBBY KNIFE

瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

■ キットに入っている工具 ■

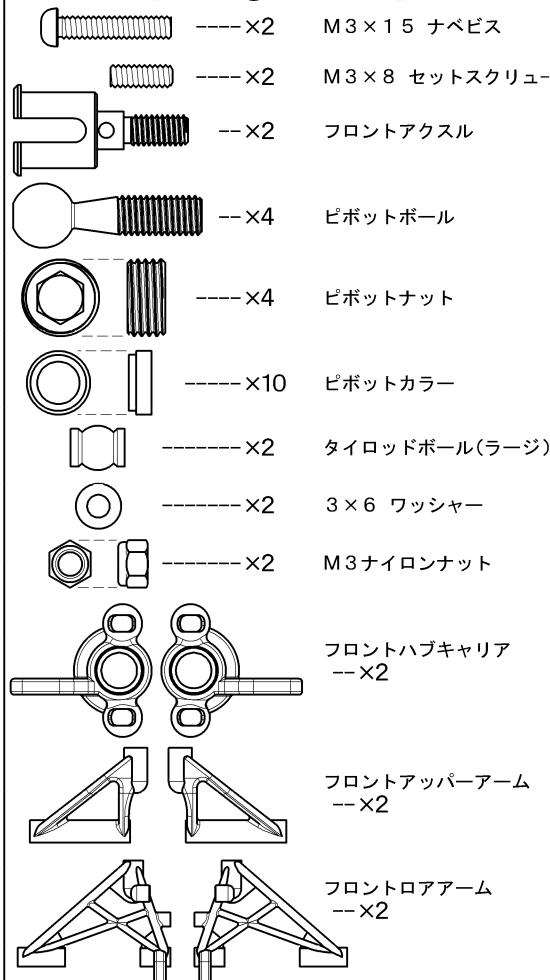
TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH

(6.0mm)
(2.5mm)
(2.0mm)
(1.5mm)

【袋一①の内容】



各種レンチは、工具袋に入っています。

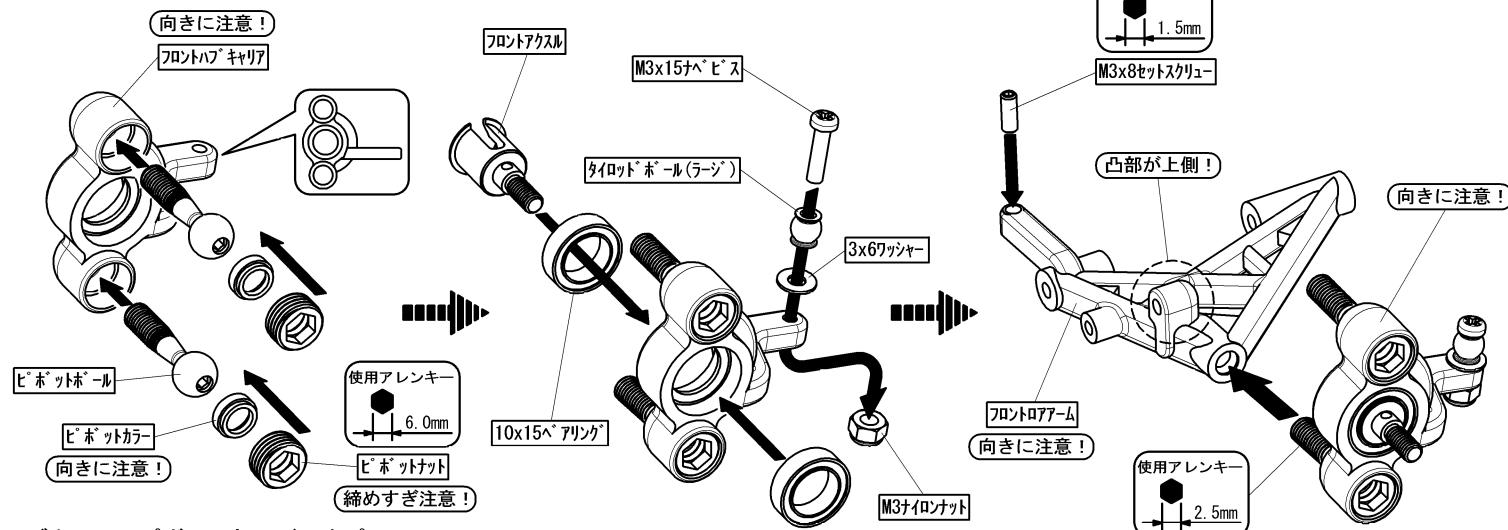
-----x1 1.5 mm アレンキー
-----x1 2.0 mm アレンキー
-----x1 2.5 mm アレンキー
-----x1 6.0 mm アレンキー

その他、ターンバックルレンチ、十字レンチが入っています。

ベアリングは、袋O(小袋)に入っています。

--x4 10×15ベアリング

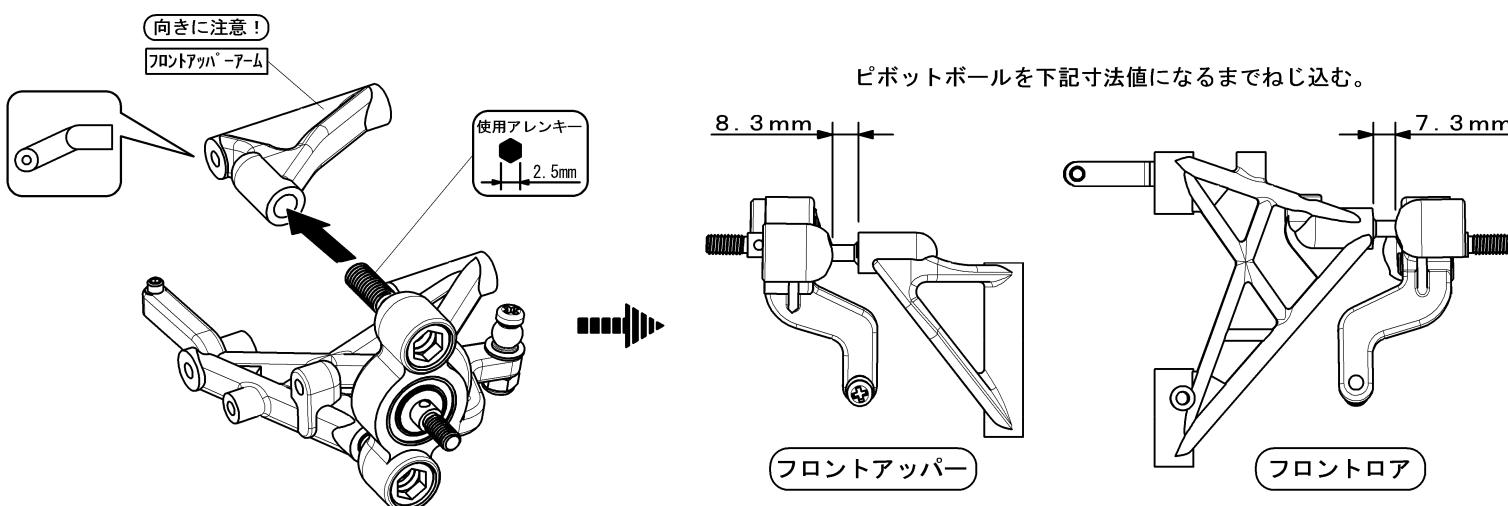
1 フロントサスペンションの組立て



ハブキャリアアビポット部のバリをピンセットなどで丁寧に取り除く。ピボットボールに少量のブラックグリスを塗ってからピボットカラー、ピボットナットの順に垂直にゆっくりと締めこむ。
注意!—ピボットナットの締めこみは、ピボットボールにガタが無く軽く動く様に締めこみます。

タイロッドボール(ラージ)を固定した後フロントハブキャリアにペアリングを押しこみ、フロントアクスルを通す。

M3×8 セットスクリューはネジ先が出ない程度にねじ込む。
ピボットボールは仮止め程度にフロントロアアームにねじ込む。



ピボットボールは仮止め程度にフロントアップアームにねじ込む。

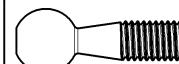
反対側のフロントサスペンションも対象になる様に組み立てる。

【袋一(2) の内容】

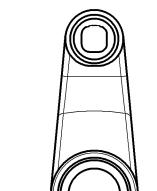
 ----x2 M3 × 8 ボタンヘッドビス

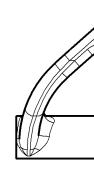
 ----x2 M3 × 8 セットスクリュー

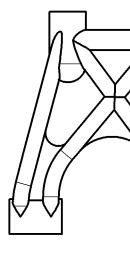
 ---x2 リアアクスル

 ---x6 ピポットボール

 ---x6 ピポットナット

 ---x2 リアハブキャリア

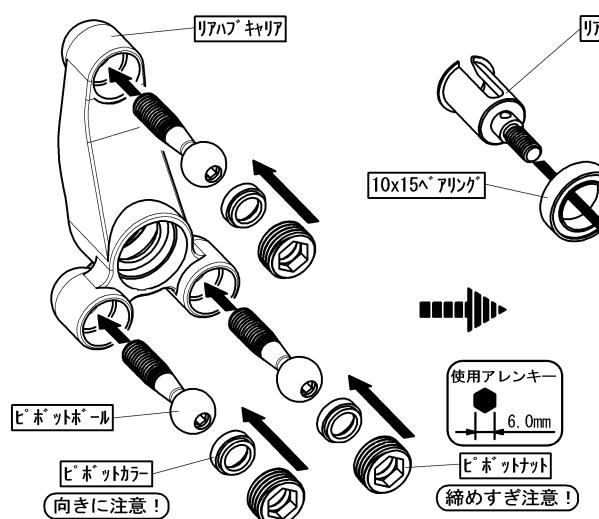
 ---x2 リアアップアーム

 ---x2 リアロアアーム

ベアリングは、袋O(小袋)に入っています。

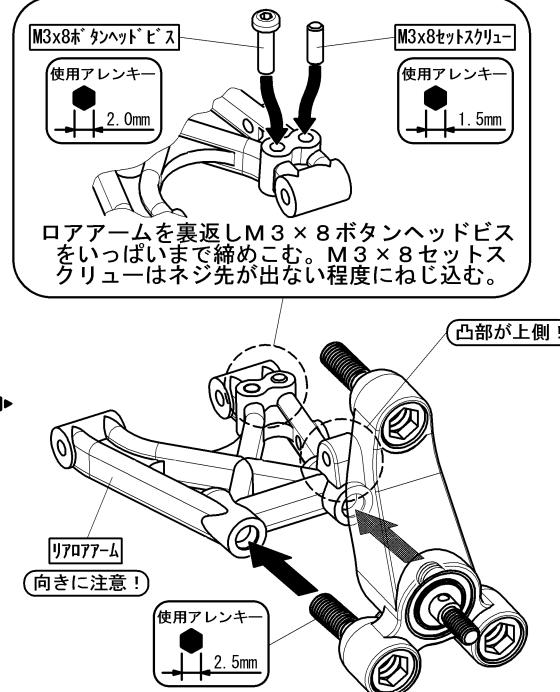
 ---x4 10 × 15 ベアリング

2 リアサスペンションの組立て

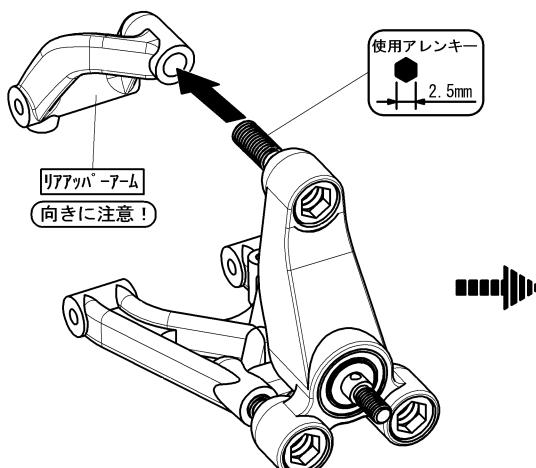


ハブキャリアアピボット部のバリをピンセットなどで丁寧に取り除く。ピボットボールに少量のブラックグリスを塗ってからピボットカラー、ピボットナットの順に垂直にゆっくりと締めこむ。
注意! —ピボットナットの締めこみは、ピボットボールにガタが無く軽く動く様に締めこみます。

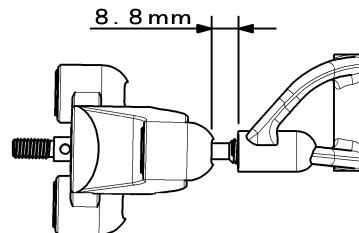
リアハブキャリアにベアリングを押しこみ、リアアクスルを通す。



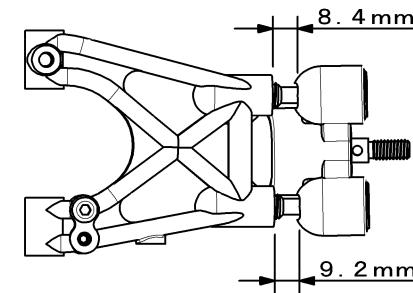
ピボットボールは仮止め程度にリアロアアームにねじ込む。



ピボットボールを下記寸法値になるまでねじ込む。



リアアップ



リアロア

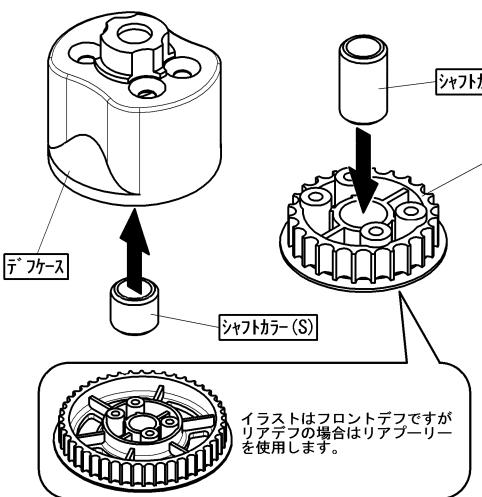
ピボットボールは仮止め程度にリアアップアームにねじ込む。

反対側のリアサスペンションも対象になる様に組み立てる。

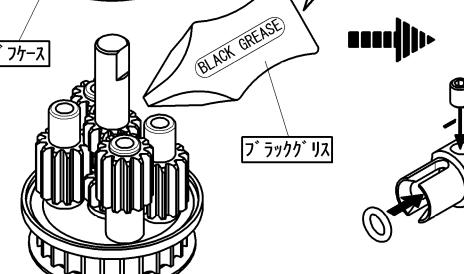
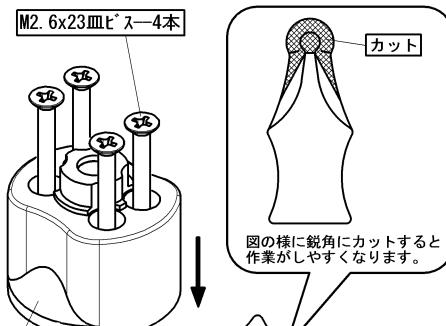
【袋一③の内容】

	--x8	M 2.6×23 皿ビス
	--x2	デフィニオンシャフト(S)
	--x2	デフィニオンシャフト(L)
	--x8	デフィニオン
	--x8	デフィニオンアクスル
	----x2	デセンターアクスル
	----x2	シャフトカラー(S)
	----x2	シャフトカラー(L)
	--x4	ジョイントカップ
	----x4	M 4×4 セットスクリュー
	----x2	Oリング(小)
	--x1	ブラックグリス
	--x2	デフケース
	--x2	デフケースカバー
	--x1	フロントデフブーリー
	--x1	リアデフブーリー
ベアリングは、袋O(小袋)に入っています。		
	--x4	10×15ベアリング

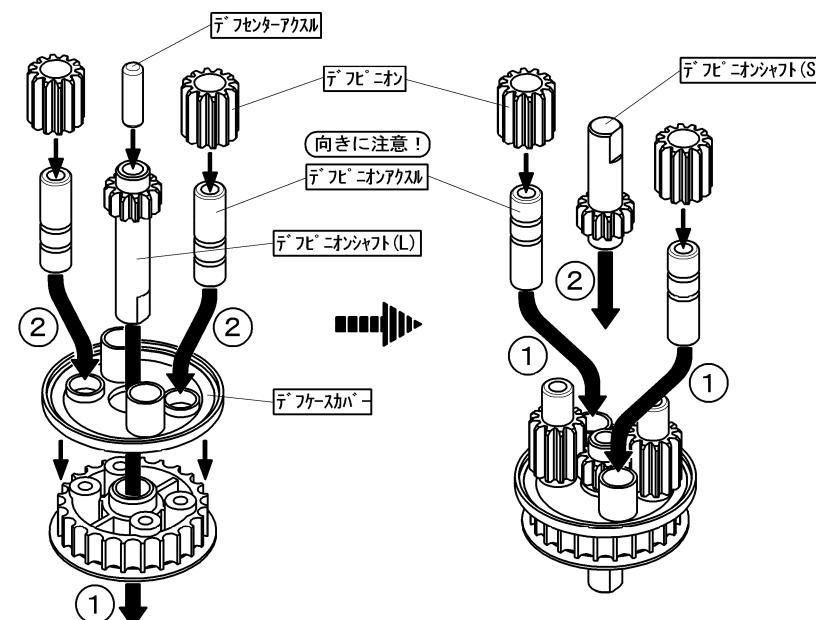
3 前後デフギヤの組立て



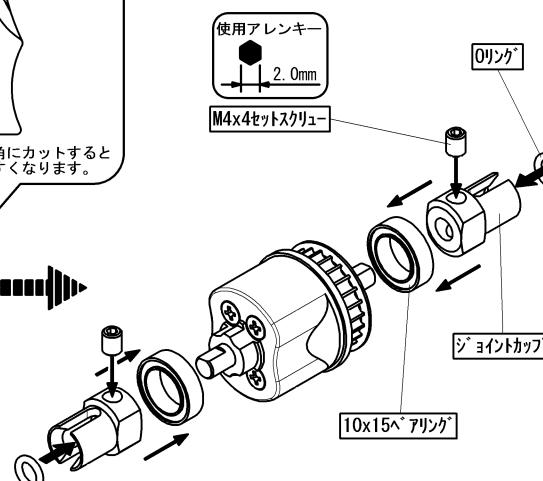
シャフトカラー(S)をデフケースに、シャフトカラー(L)をデフブーリーに押しこむ。



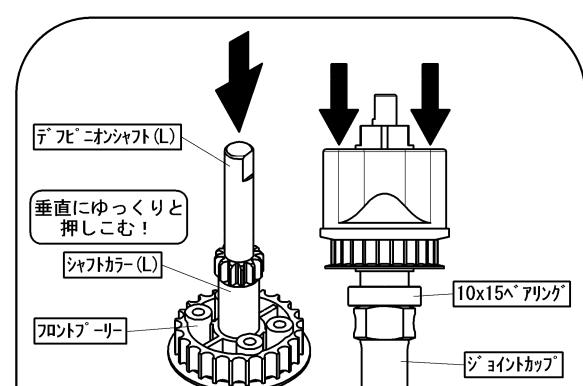
デフケースを被せる前に、必ずピニオン全體にブラックグリスを塗る事！



ブーリーにデフケースカバーを合せ、番号順にピニオン類を乗せる。
注意！--ピニオンシャフト及びピニオンアクスルには必ずブラックグリスを少量塗るようにして下さい。

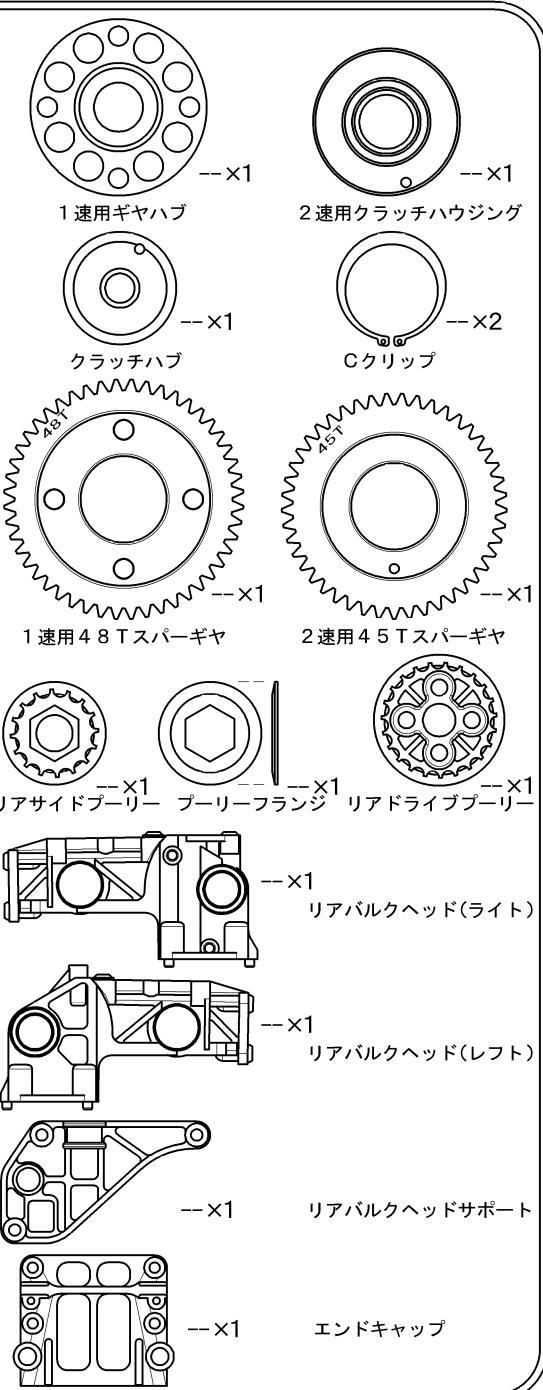
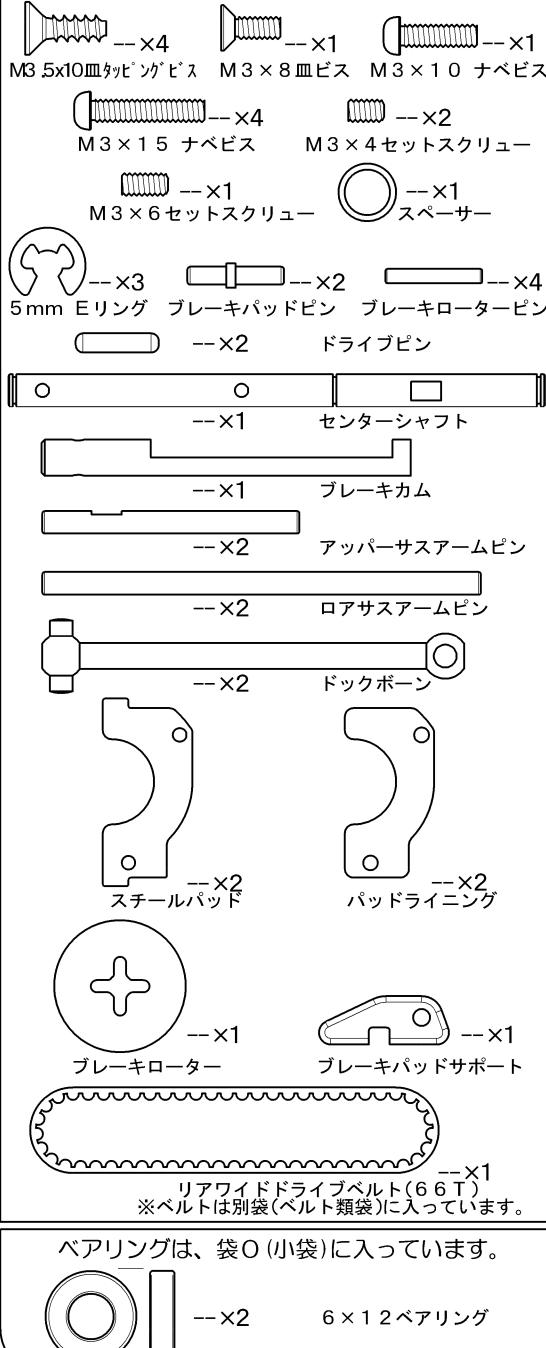


ベアリングはデフケースにしっかりと押し込み、ジョイントカップをセットスクリューでシャフトのDカットに確実に合わせ固定する。ジョイントカップ内にOリングを押しこむ。

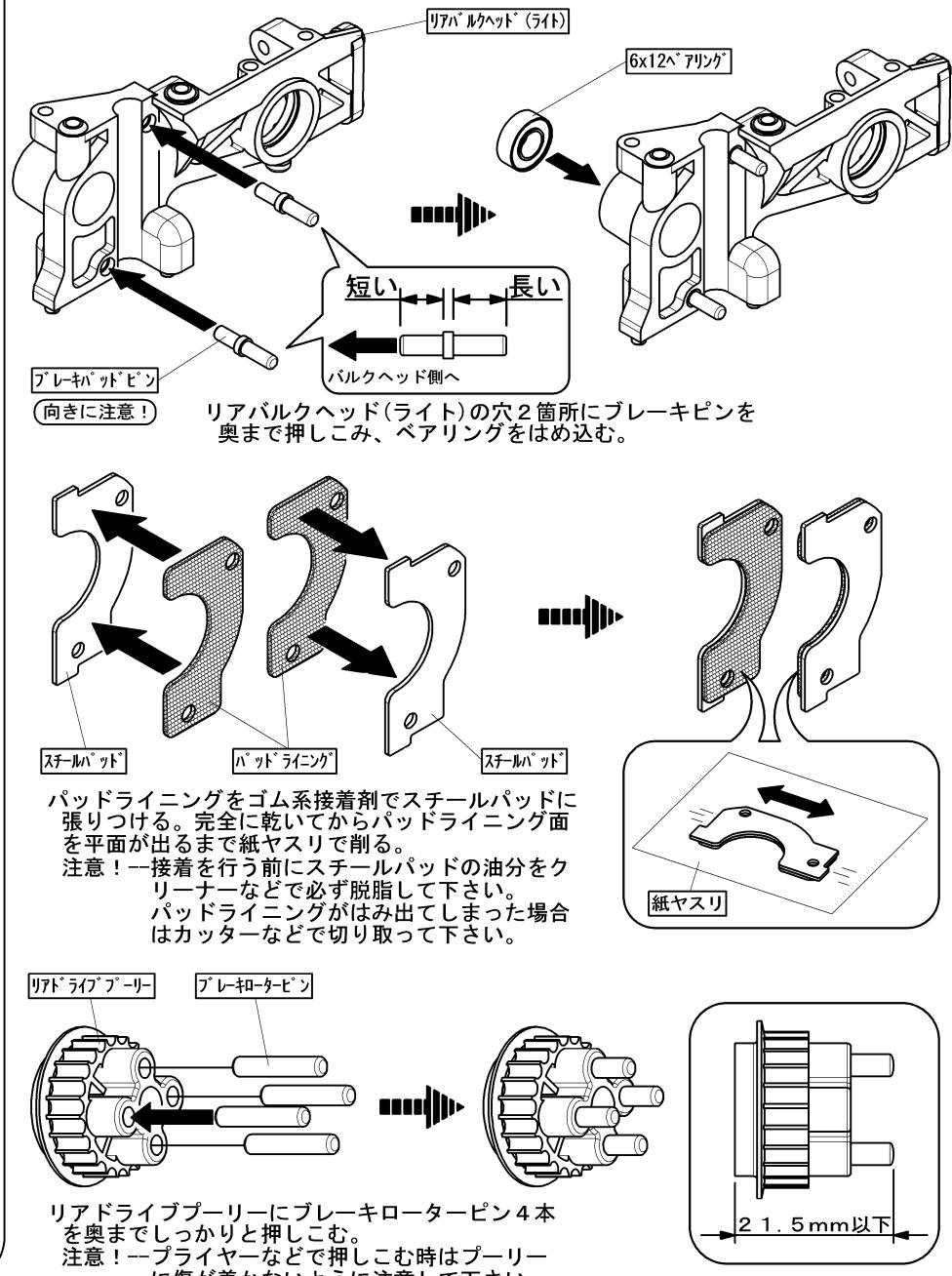


- ・デフケース及びブーリーにシャフトカラーを押しこむ際、ガタ防止の為にかなりキツメになっていますので、イラストの様にピニオンシャフトを間に挿入プライヤーか万力などにはさみ込みナナメに入らないよう慎重にゆっくりと圧入してください。
- ・デフケースにベアリングをおし込みづらい時は、ジョイントカップを台の代わりに使用しデフケースをおし付ける様にするとあります。

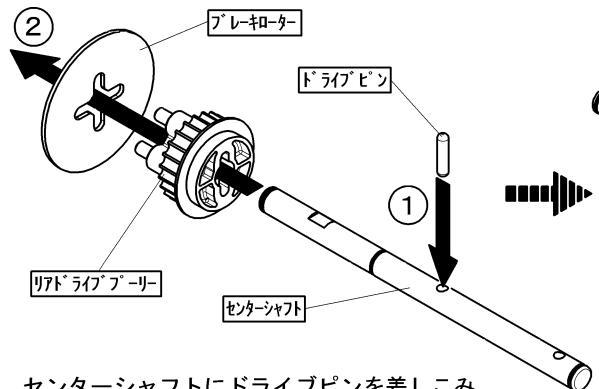
【袋一④の内容】



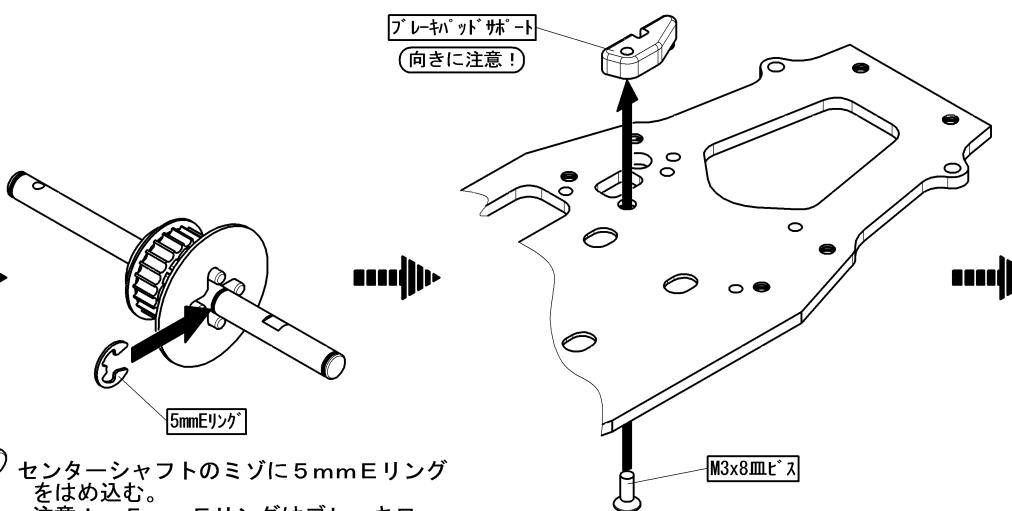
4 リアバルクヘッドの組立て



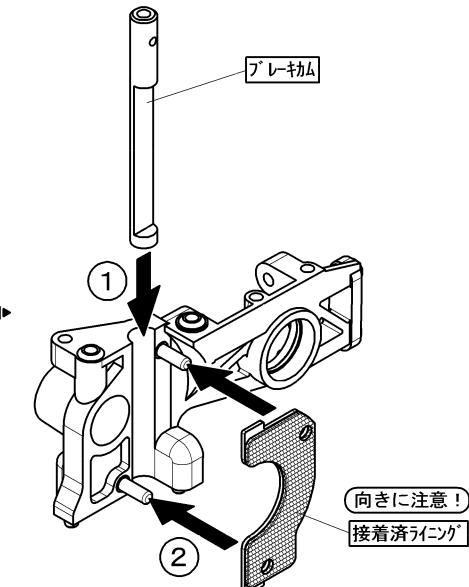
4 リアバルクヘッドの組立て



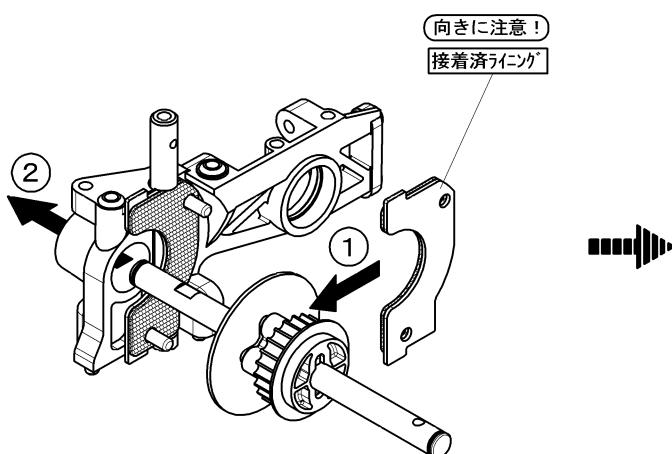
センターシャフトにドライブピンを差しこみ、リアドライブプーリー、ブレーキローターの順でシャフトに通す。



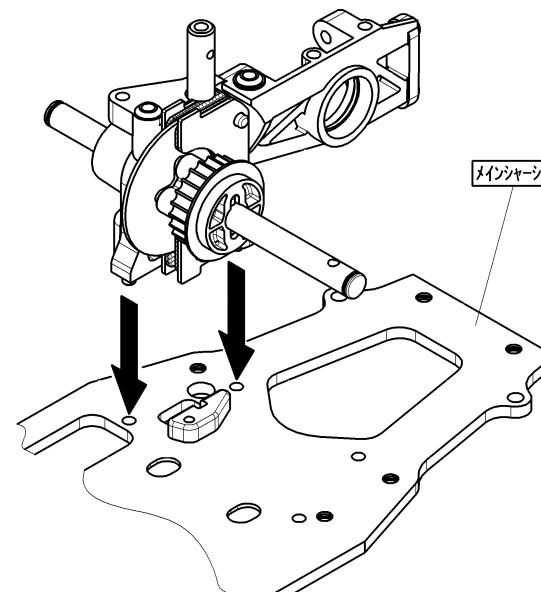
センターシャフトのミゾに5mmEリングをはめ込む。
注意!—5mmEリングはブレーキローターに傷を付けない様に確実にはめ込んで下さい。



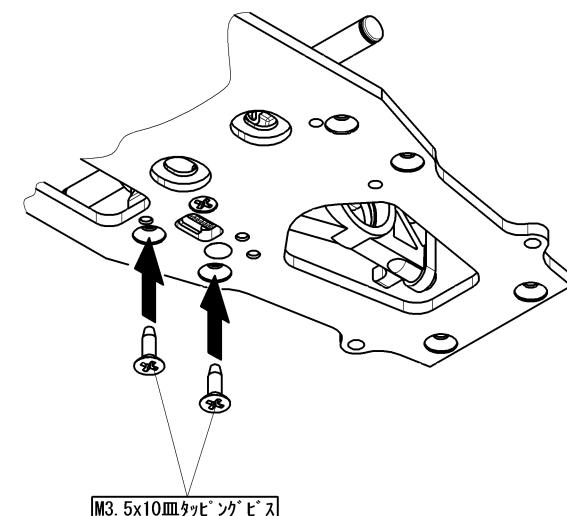
リアバルクヘッド(ライト)の長ミゾにイラストの向きでブレーキカムを通し、接着済ライニングを2本のブレーキパッドピンにそわせる様に通しブレーキカムにはめる。



もう片方の接着済ライニングをブレーキローターと一緒に押さえこむ様にバルクヘッドに通し、ブレーキパッドピンにそわせる。

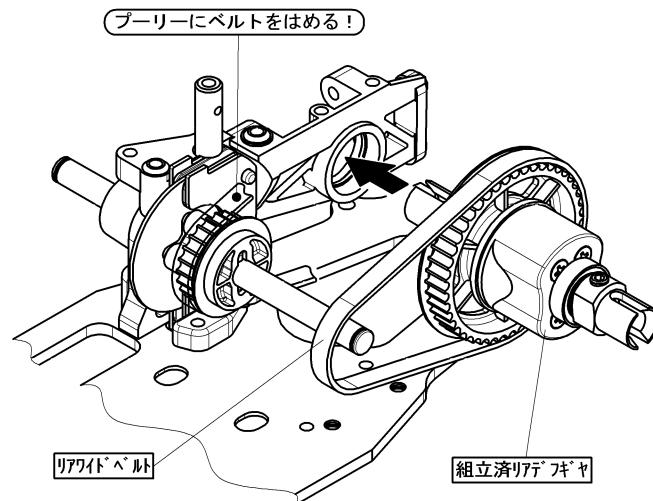


バルクヘッドの下側ボスとメインシャーシの穴を合わせ、右イラストの様にシャーシ下側からM3.5×10mmタッピングビス2本で固定する。

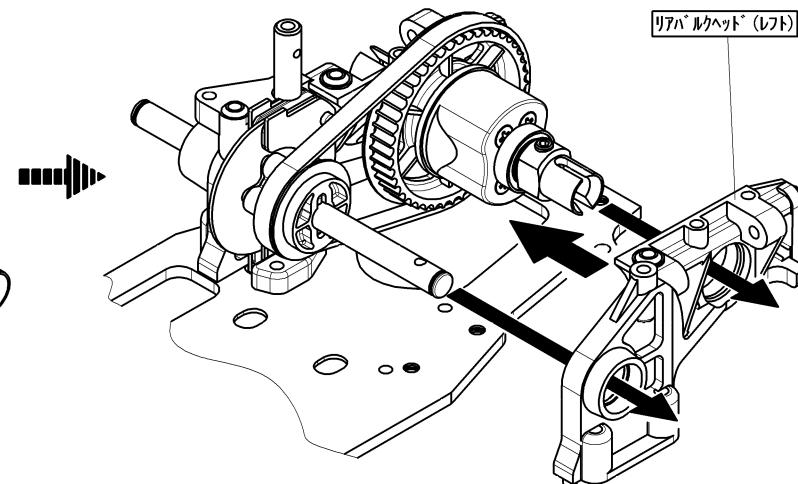


注意!—組付けたブレーキが外れない様にタッピングビスをしめ込んで下さい。

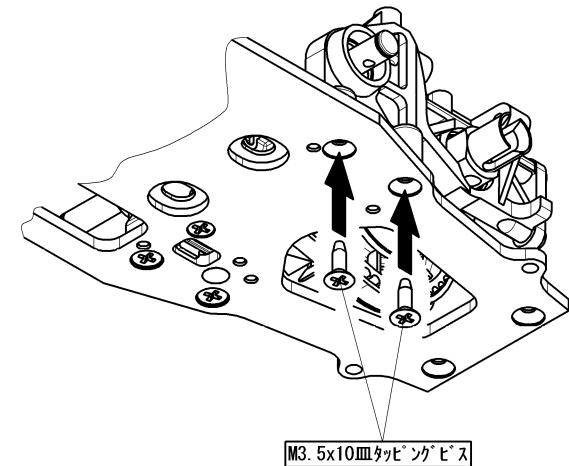
4 リアバルクヘッドの組立て



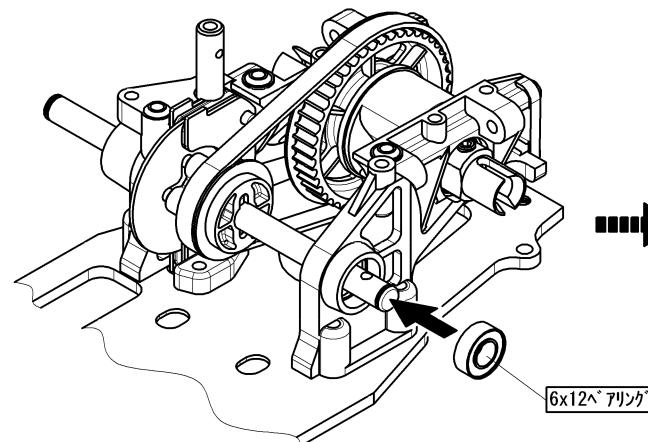
組立済リアデフギヤにリアワイドベルトを合わせ
リアドライブブーリーにベルトをはめ込みデフ
ギヤをバルクヘッドに押しこむ。



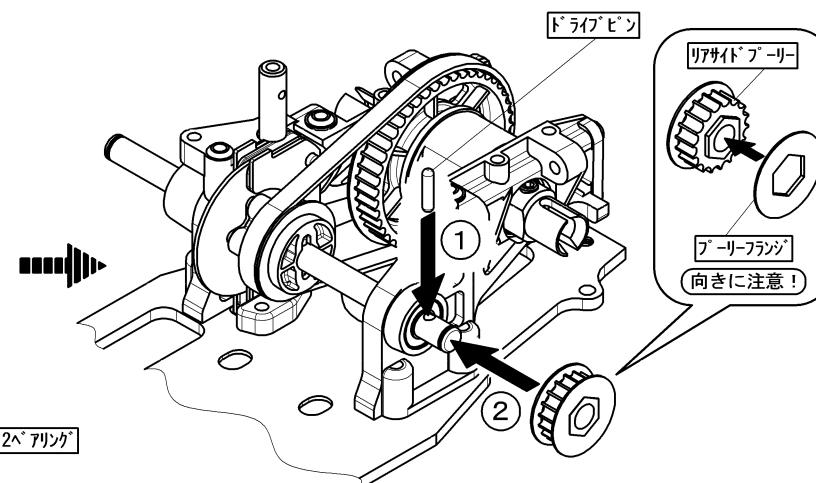
バルクヘッド(レフト)にセンターシャフト、ジョ
イントカップを通す。



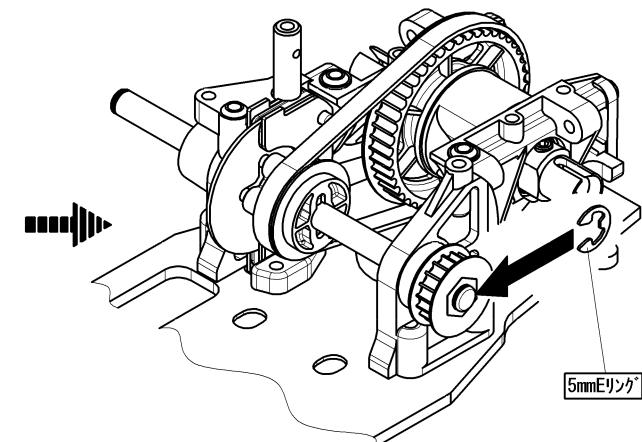
バルクヘッドの下側ボスとメインシャーシの穴を
合わせ、シャーシ下側からM3.5×10皿タッ
ピングビス2本で固定する。



バルクヘッドに6×12ベアリングをはめ込む。

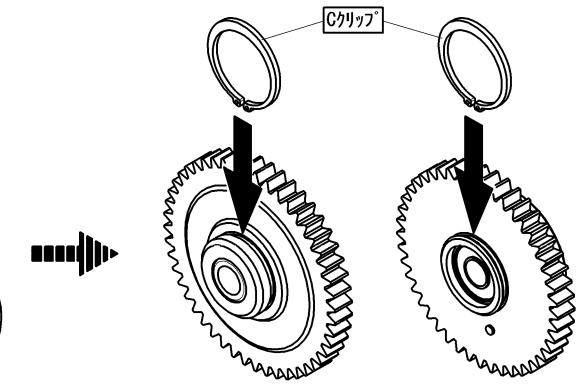
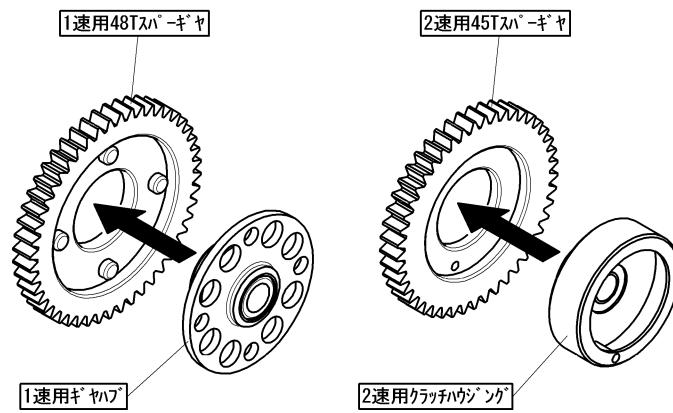
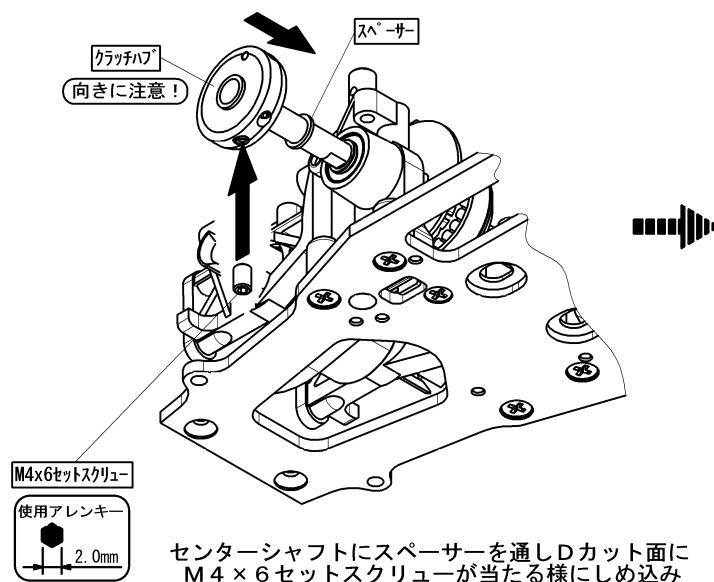


センターシャフトにドライブピンを差しこみ、リアサイド
ブーリーのミゾをピンに合わせ押しこむ。



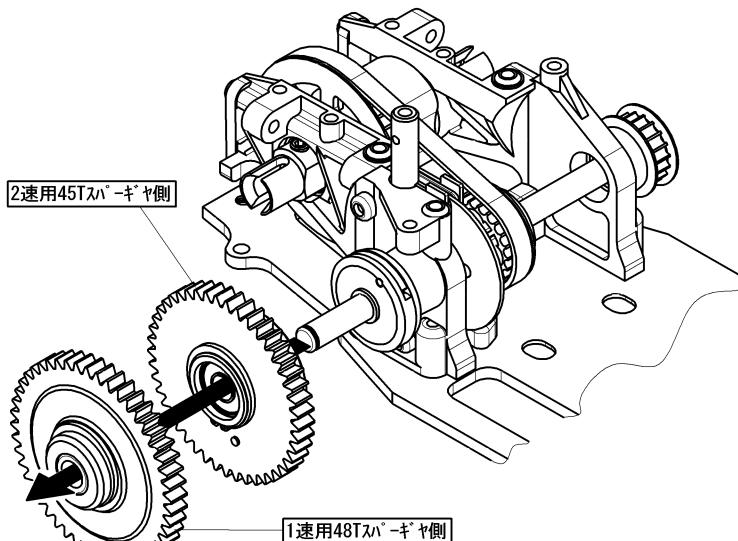
センターシャフトのミゾに5mmEリング
をはめ込む。
注意! -- 5mmEリングは確実にはめ込
んで下さい。

4 リアバルクヘッドの組立て（2スピードミッションの取付）

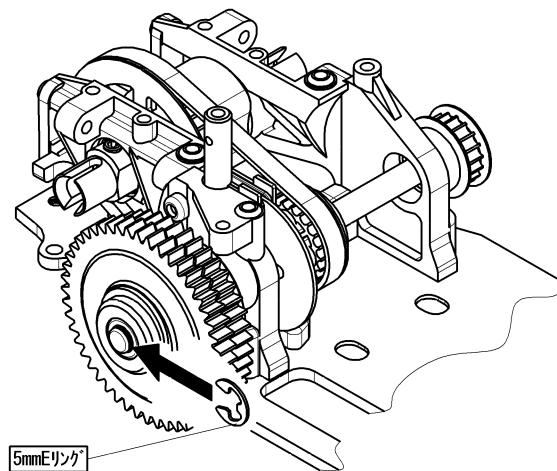


ギヤハブ及びクラッチハウジングのミゾに
Cクリップをはめ込む。
注意!—Cクリップは確実にはめ込んで
下さい。なお、スナップリング
プライヤーを使用すると作業が
楽に行えます。

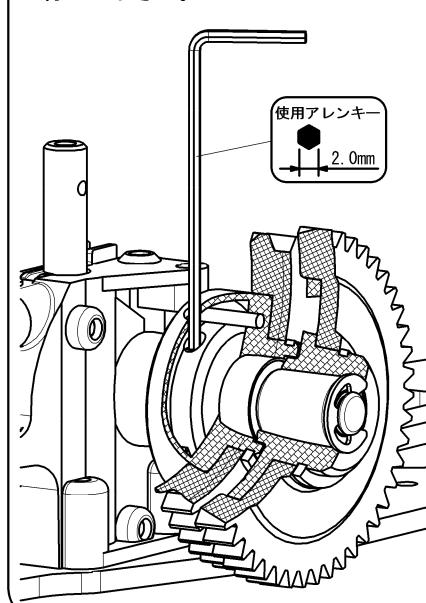
スパーギヤにギヤハブ及びクラッチハウジングをはめ込む。



センターシャフトに2速スパーギヤ、
1速スパーギヤの順に差しこむ。



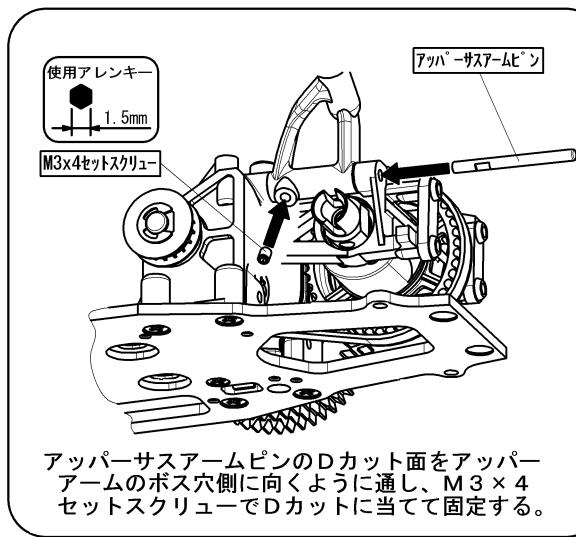
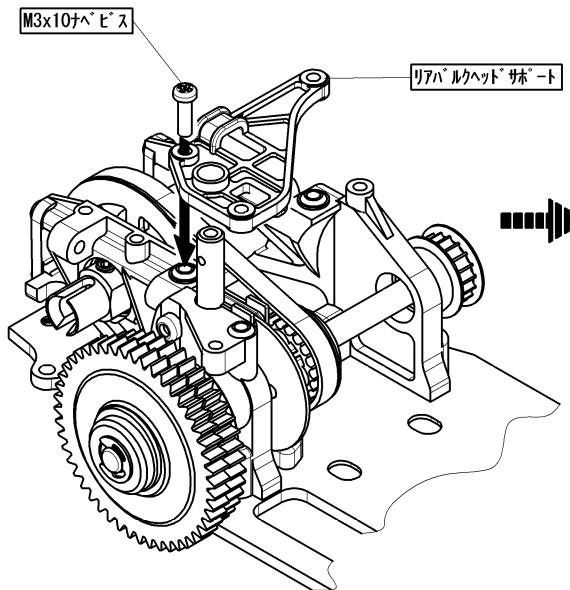
センターシャフトのミゾに5mmEリング
をはめ込む。
注意!—5mmEリングは確実にはめ込
んで下さい。



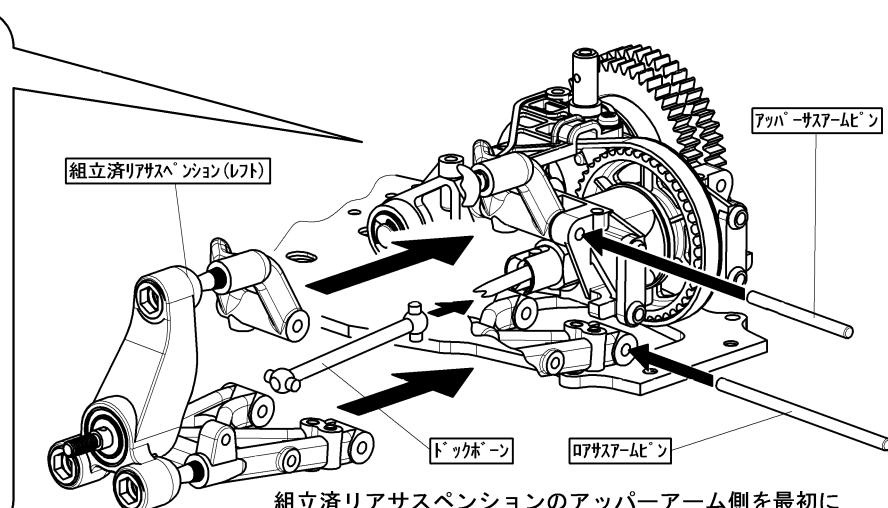
変速タイミング調整

変速タイミングの調整は、しめ込むと
2速への変速が遅くなり、ゆるめる
と早くなります。走行させながら調整を
行って下さい。

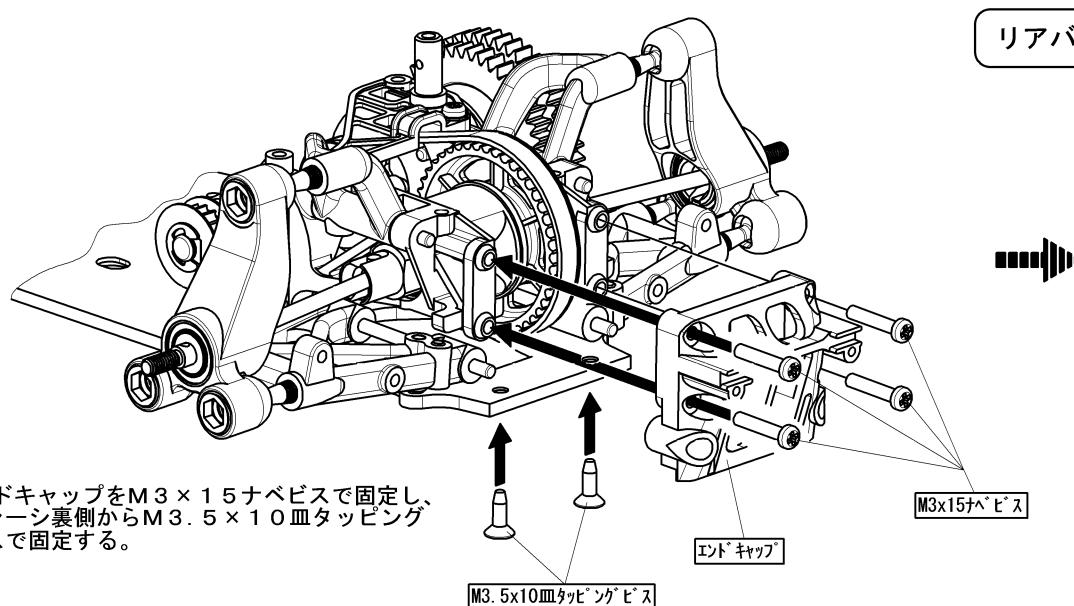
4 リアバルクヘッドの組立て（リアサスペンションの取付）



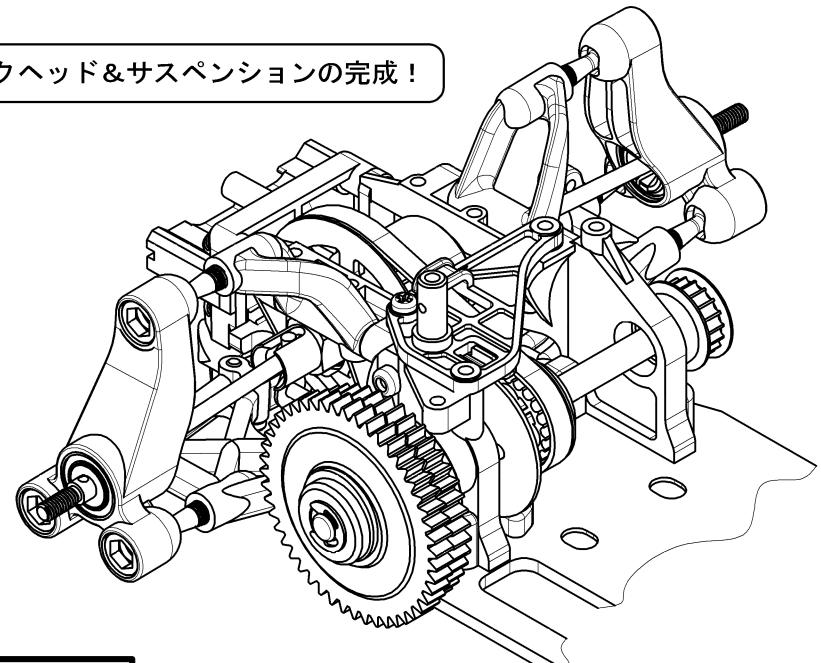
リアバルクヘッドサポートをM3×10ナベビスで固定する。



組立済りサスペンションのアッパーアーム側を最初にサスアームピンでバルクヘッドに固定する。次にドックボーンをジョイントにはめながら、ロアアーム側にサスアームピンをバルクヘッドまで通す。
注意！一反対側のサスペンションも同じ様に組付けて下さい。なお、ドックボーンの両端のピンには必ずブラックグリスを塗って下さい。



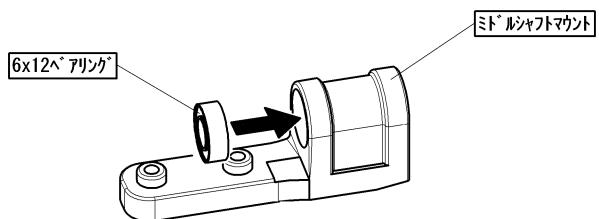
リアバルクヘッド&サスペンションの完成！



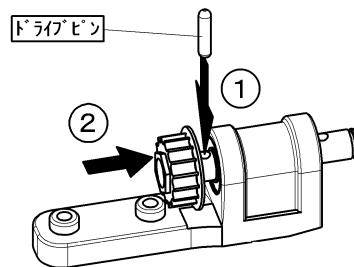
【袋一⑤の内容】

	--x9	M3.5 × 10 螺丝
	--x2	5mm E 环
	--x2	驱动销
	--x4	M3 × 4 螺丝
	--x2	M3 × 8 螺丝
	--x1	O 形圈
	--x1	中间轴
	--x2	上悬臂臂销
	--x2	下悬臂臂销
	--x2	卡扣
	--x1	前驱动皮带
	--x1	皮带法兰
	--x1	前侧驱动皮带
	--x1	侧驱动皮带
	--x1	O 形圈
	--x2	6 × 12 融合环
	--x2	驱动销
	--x1	前驱动皮带
	--x1	皮带法兰
	--x2	O 形圈

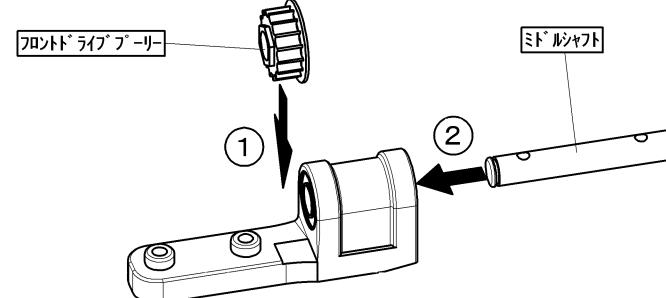
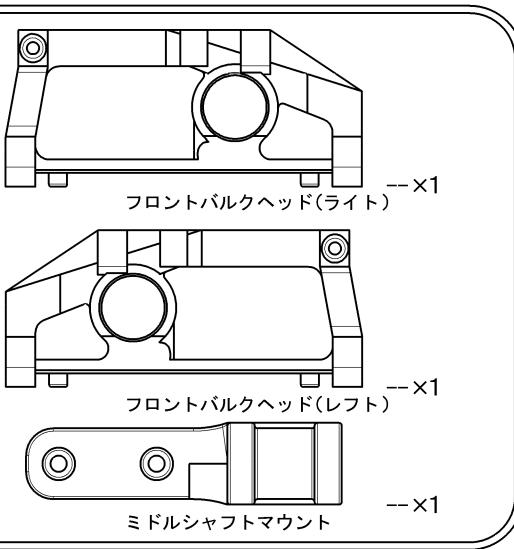
5 フロントバルクヘッドの組立て



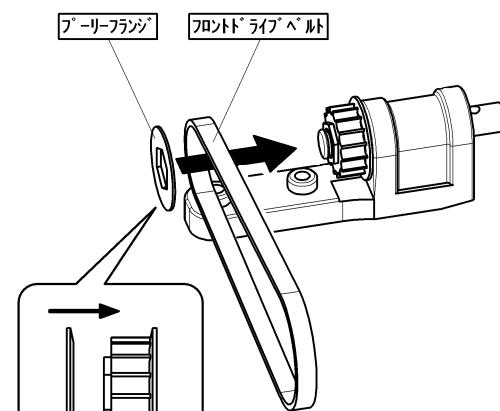
ミドルシャフトマウントに6×12ベアリングを
はめ込む。



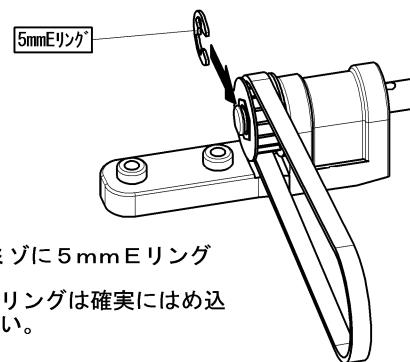
マウントとブーリーの間にすき間を作り、
シャフトの穴にドライブピンを差しこみ
ブーリーをミゾに合せ押しこむ。



ミドルシャフトをマウントに通しフロントドライブブーリーに
差しこむ。

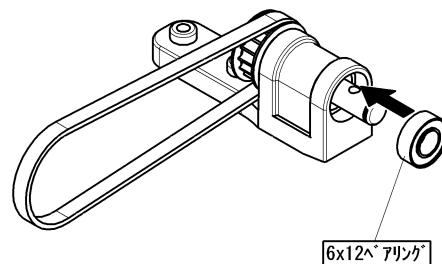


フロントドライブベルト、ブーリーフランジ
をブーリーにはめ込む。
注意！—ブーリーフランジには向きがあり
ます。段が付いている面をブーリー
一侧に向けて下さい。

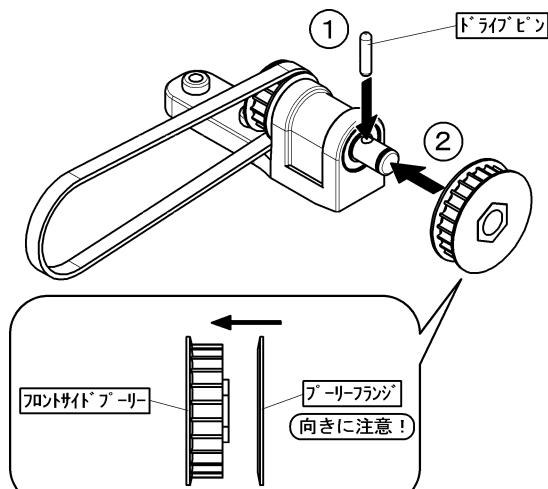


ミドルシャフトのミゾに5mm E リング
をはめ込む。
注意！—5mm E リングは確実にはめ込
んで下さい。

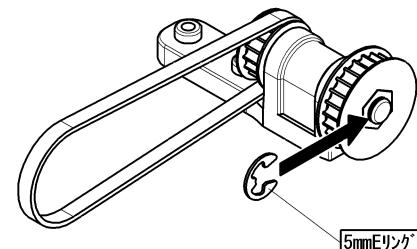
5 フロントバルクヘッドの組立て



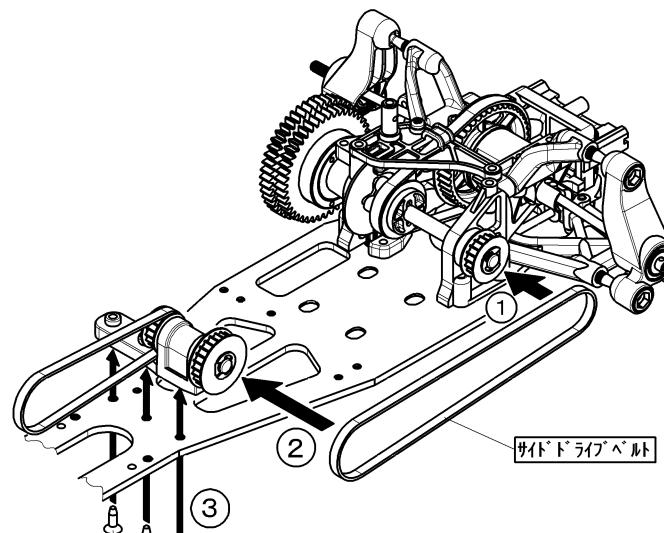
ミドルシャフトマウントに6×12ベアリングを押しこむ。



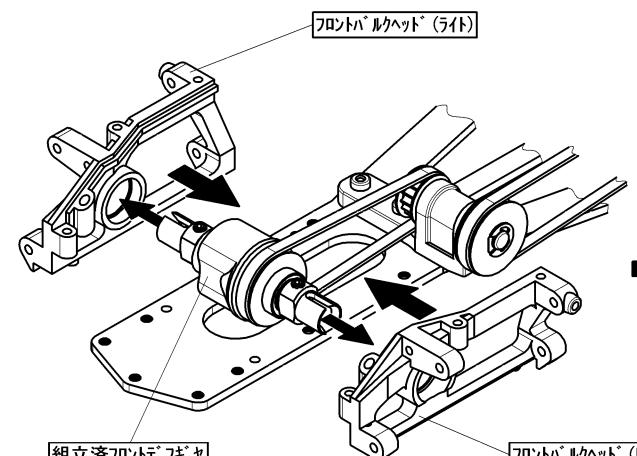
ミドルシャフトの穴にドライブピンを差しこみ
フロントサイドブーリーのミゾに押しこむ。
注意！—ブーリーフランジには向きがあり
ます。段が付いている面をブーリー^{一側}に向けて下さい。



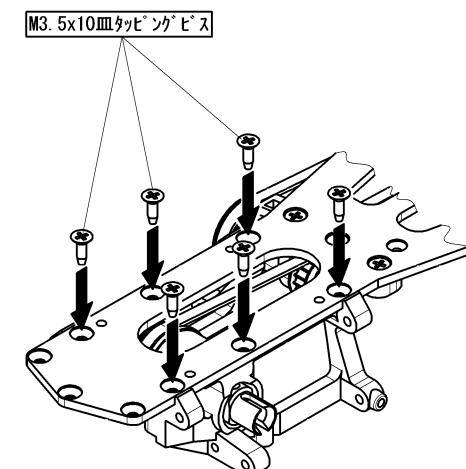
ミドルシャフトのミゾに5mm Eリング
をはめ込む。
注意！—5mm Eリングは確実にはめ込
んで下さい。



サイドドライブベルトをリアサイドブーリー、
フロントサイドブーリーの順にはめ込み、ミ
ドルシャフトマウントをシャーシ下側から、
M 3.5 × 10 皿タッピングビスで固定する。

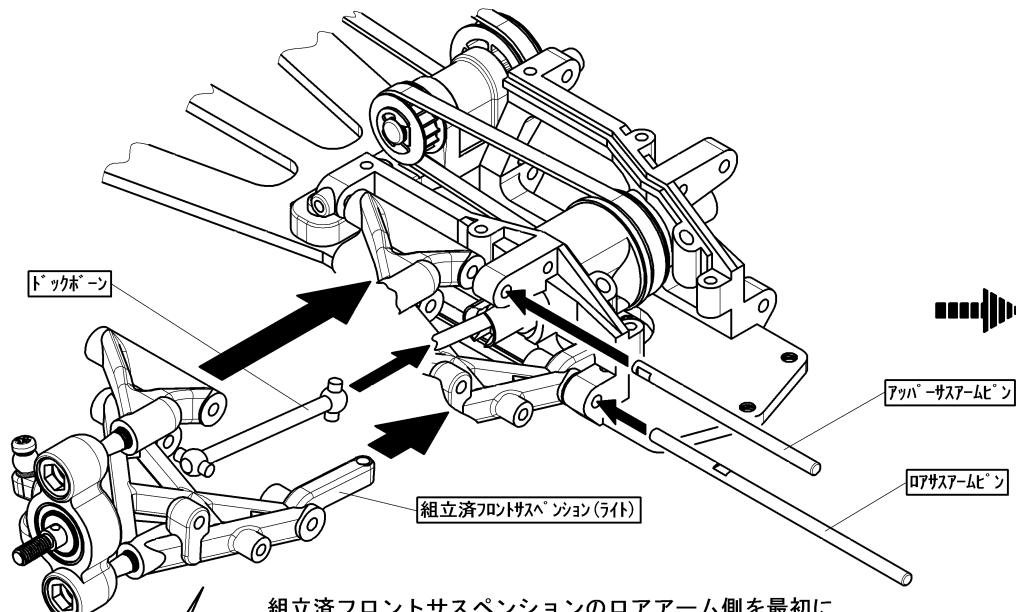


フロントドライブベルトに組立済フロントデフギヤ
を合わせ、フロントバルクヘッド（ライト&レフト）
を両サイドからはめ込む。



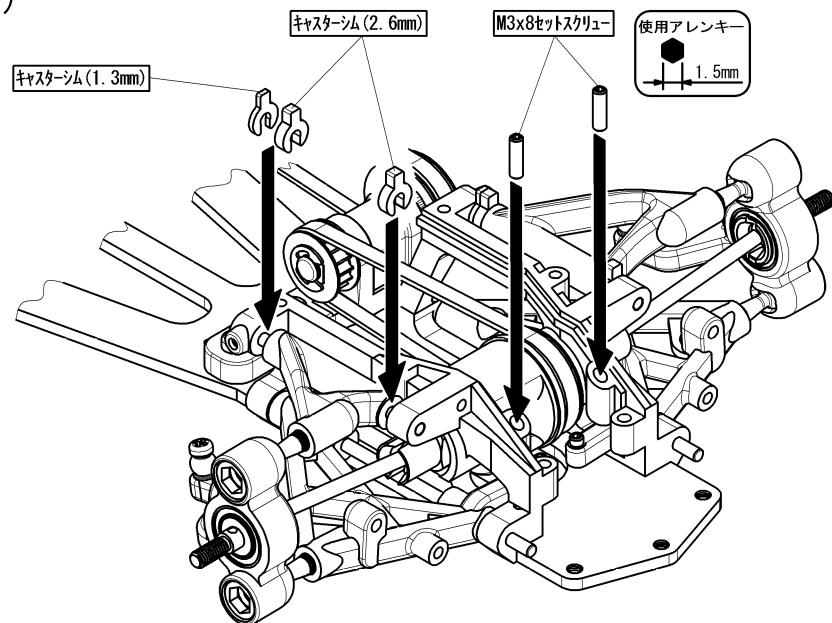
バルクヘッドの下側ボスとメインシャーシの穴を
合わせ、シャーシ下側からM 3.5 × 10 皿タッ
ピングビス2本で固定する。

5 フロントバルクヘッドの組立て（フロントサスペンションの取付）



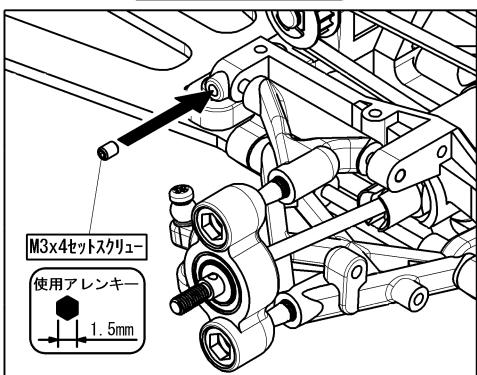
組立済フロントサスペンションのロアアーム側を最初に
サスアームピンでバルクヘッドに固定する。次にドック
ボーンをジョイントにはめながら、アッパーアーム側に
サスアームピンを通す。

注意！--反対側のサスペンションも同じ様に組付けて
下さい。なお、ドックボーンの両端のピンに
は必ずブラックグリスを塗って下さい。



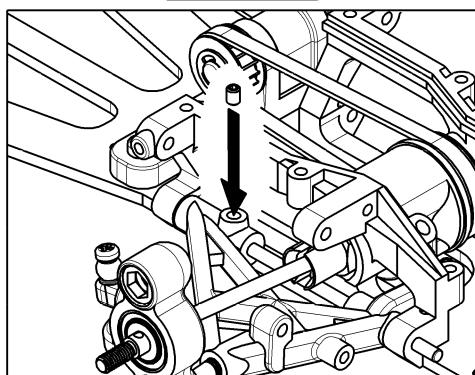
キャスターを前側に2.6mm、後側に1.3mm &
2.6mmをアッパーアームのすき間に差しこみ、バル
クヘッドにM 3 × 8 セットスクリューをねじ先が出ない
程度にねじ込む。

アッパーアーム側

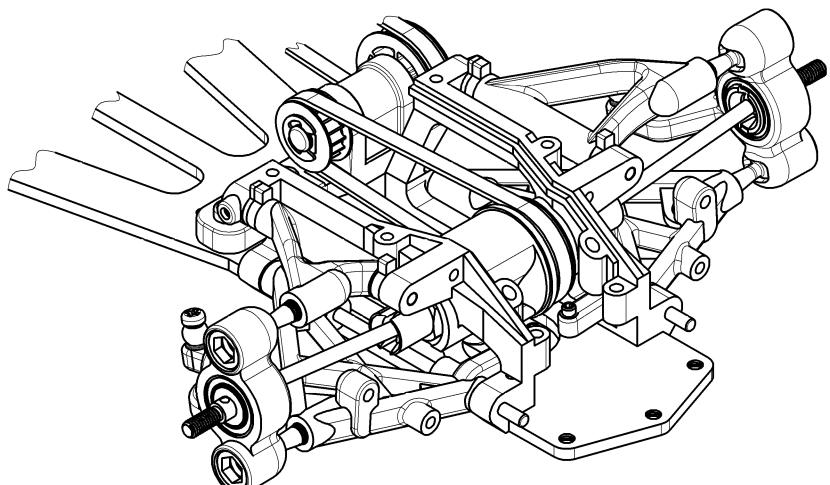


アッパーサスアームピン及びロアサスアームピンのDカット面をボス穴側に
向くように通し、M 3 × 4 セットスクリューでDカットに当てて固定する。

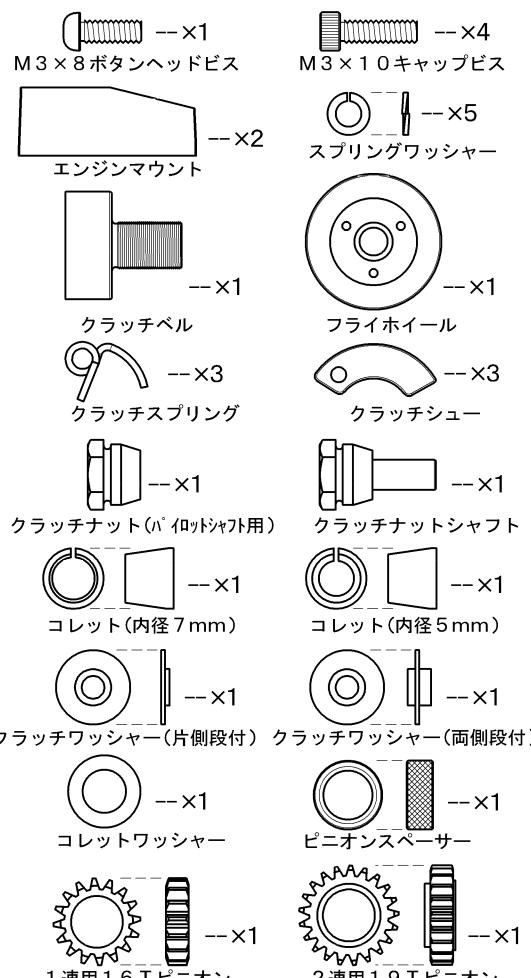
ロアアーム側



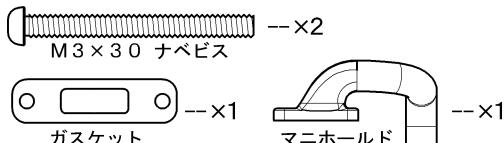
フロントバルクヘッド＆サスペンションの完成！



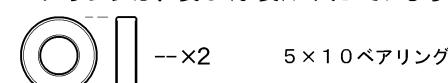
【袋一⑥の内容】



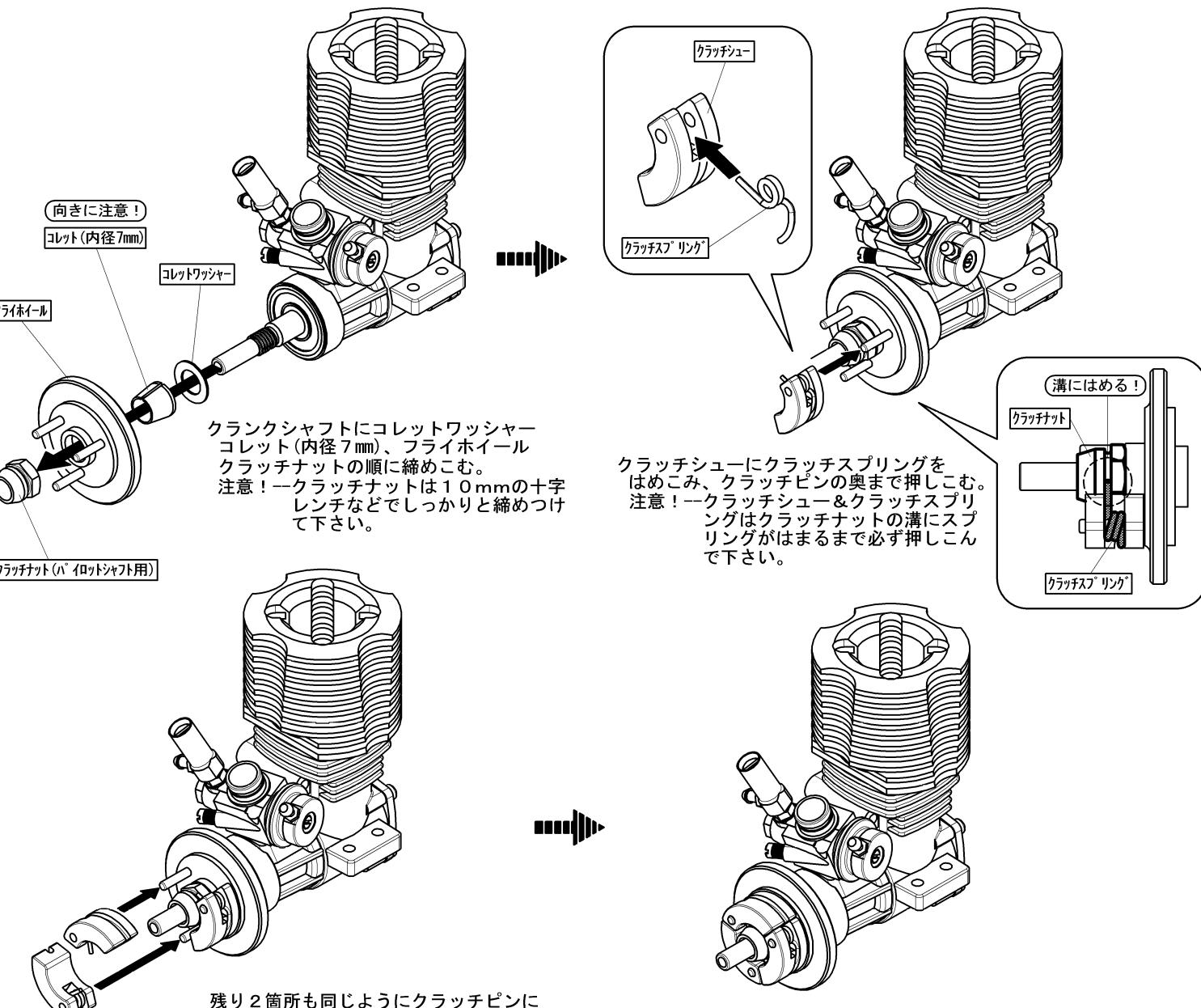
シャーシキットの場合は下記パーツは付属しません。
[ZE-653]を別途お買い求め下さい。



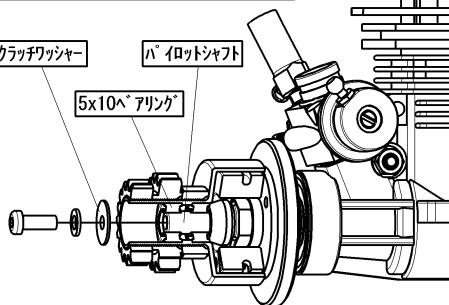
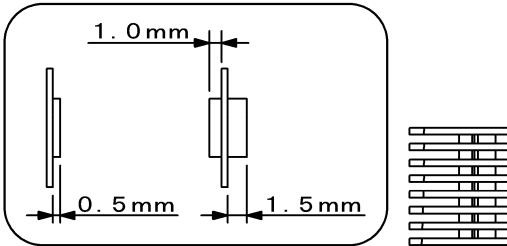
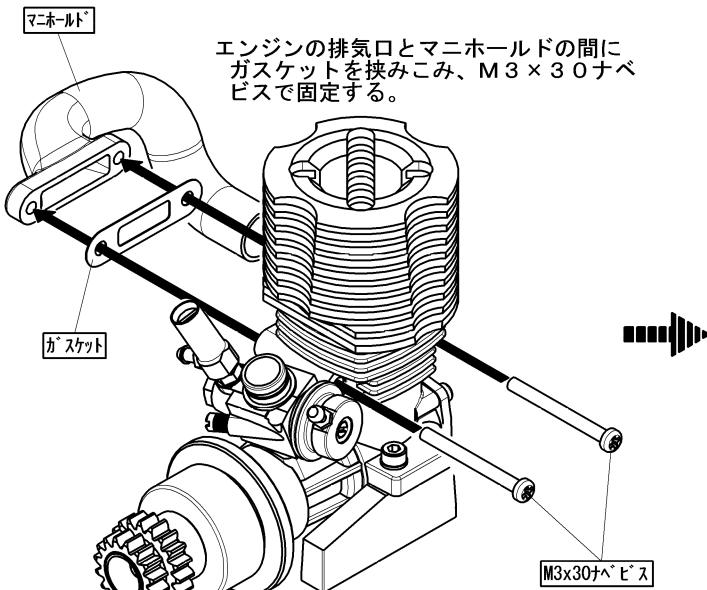
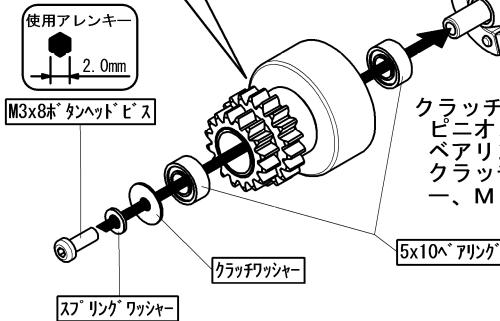
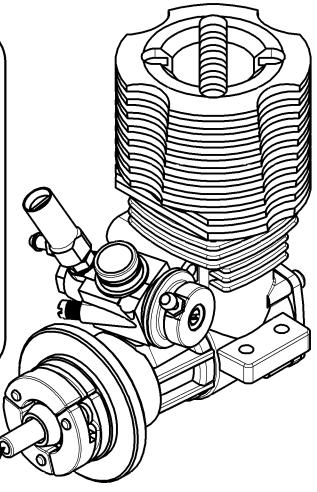
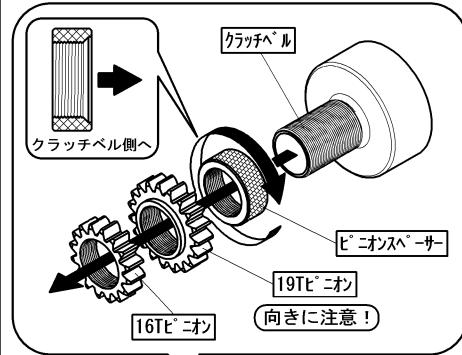
ベアリングは、袋O(小袋)に入っています。



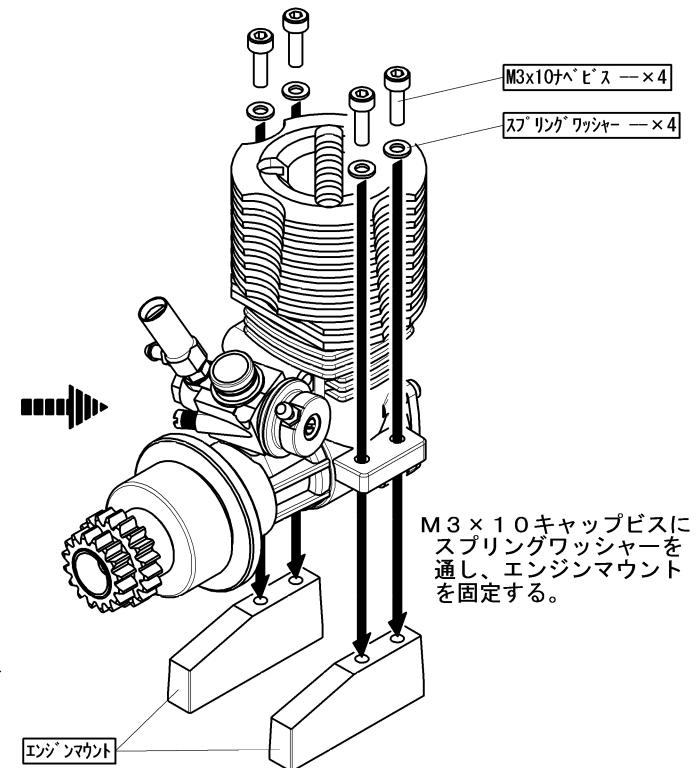
6 クラッチの組立て (パイロットシャフト以外のエンジンは [Page-18] を参照)



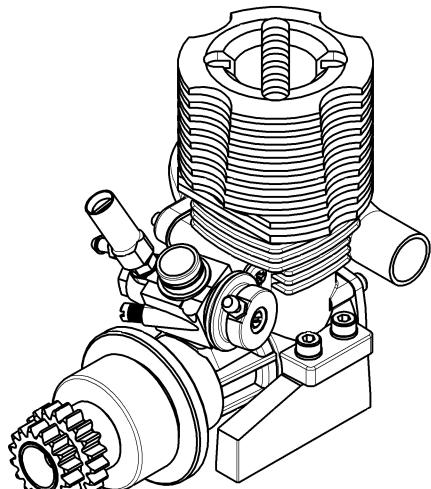
6 クラッチの組立て



使用するエンジンの種類によってはパイロット
シャフトの先端がベアリングより奥に入ってしまう事があります。そのような時はクラッチ
ワッシャーの向きを変えてクラッチベルに多少
のガタができる様に調整して下さい。

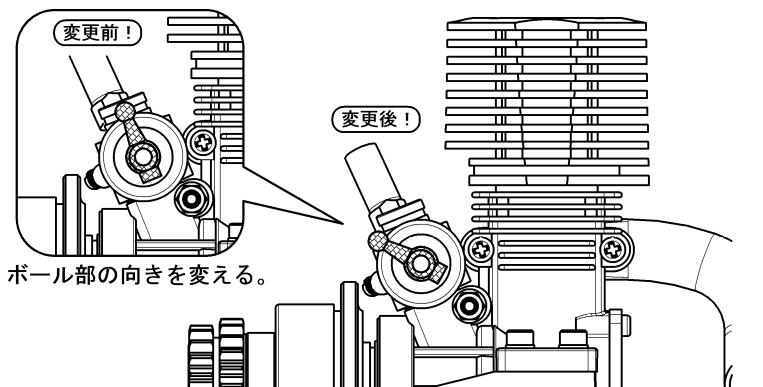


クラッチ組立ての完成!

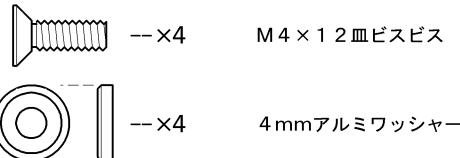


他社製スライドキャブ仕様エンジンを使用する場合

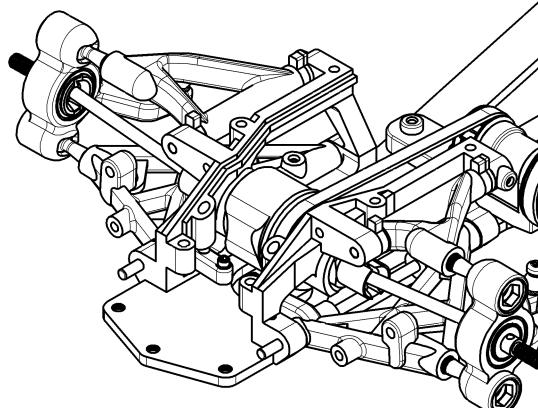
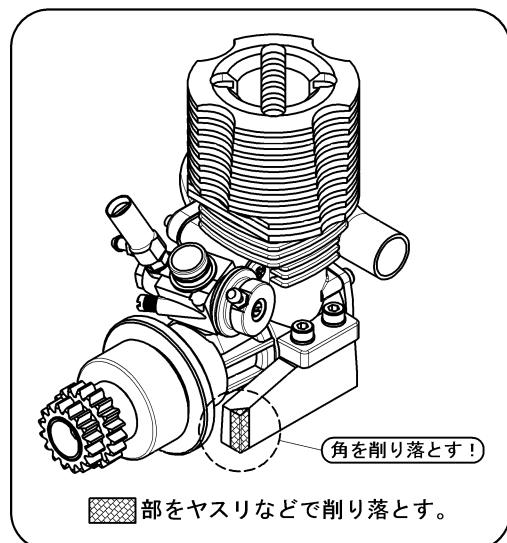
(Page-21)で取付けるラジオプレートとスライドキャブが
一部当る事がありますので、イラストの様にキャブボール
部の取付角度を変更して下さい。それでもラジオプレート
に当る場合はプレート側を削って下さい。



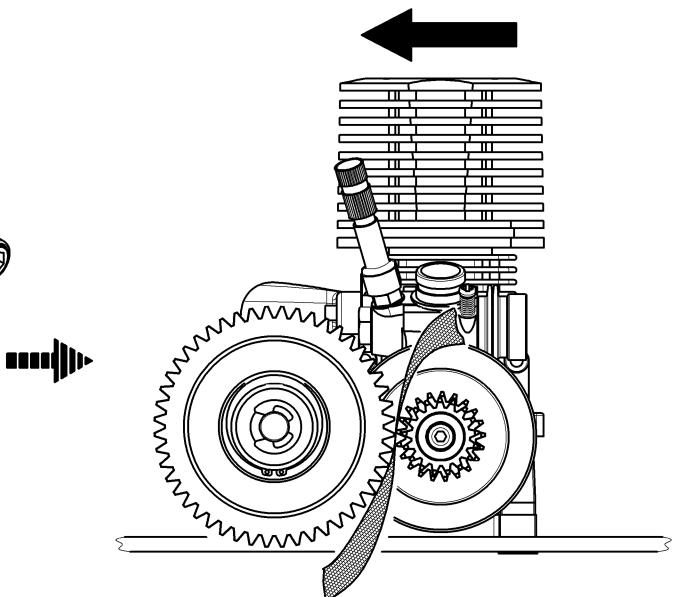
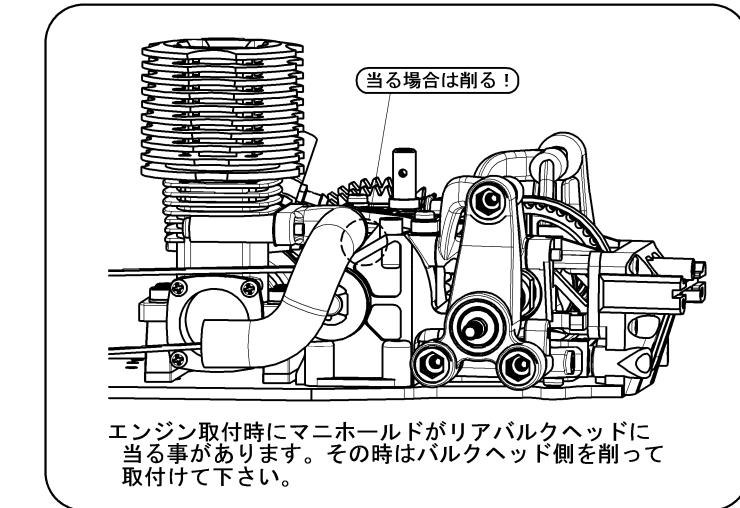
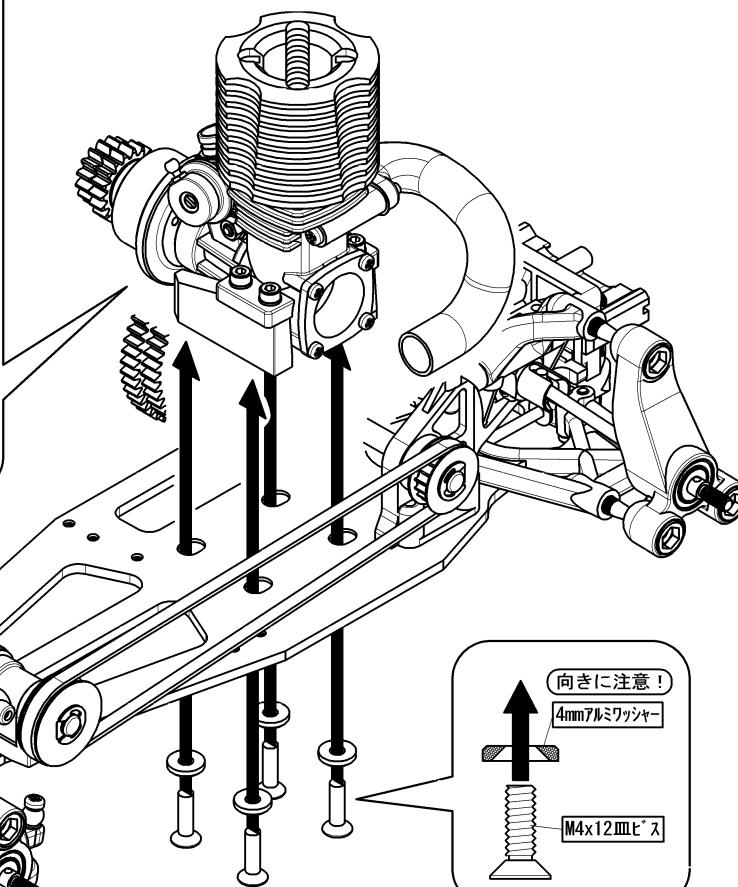
【袋一⑥ の内容】



7 エンジンの搭載



4mmアルミワッシャーにM4×15皿ビスを通し、
シャーシ下側からエンジンマウントを仮止めする。



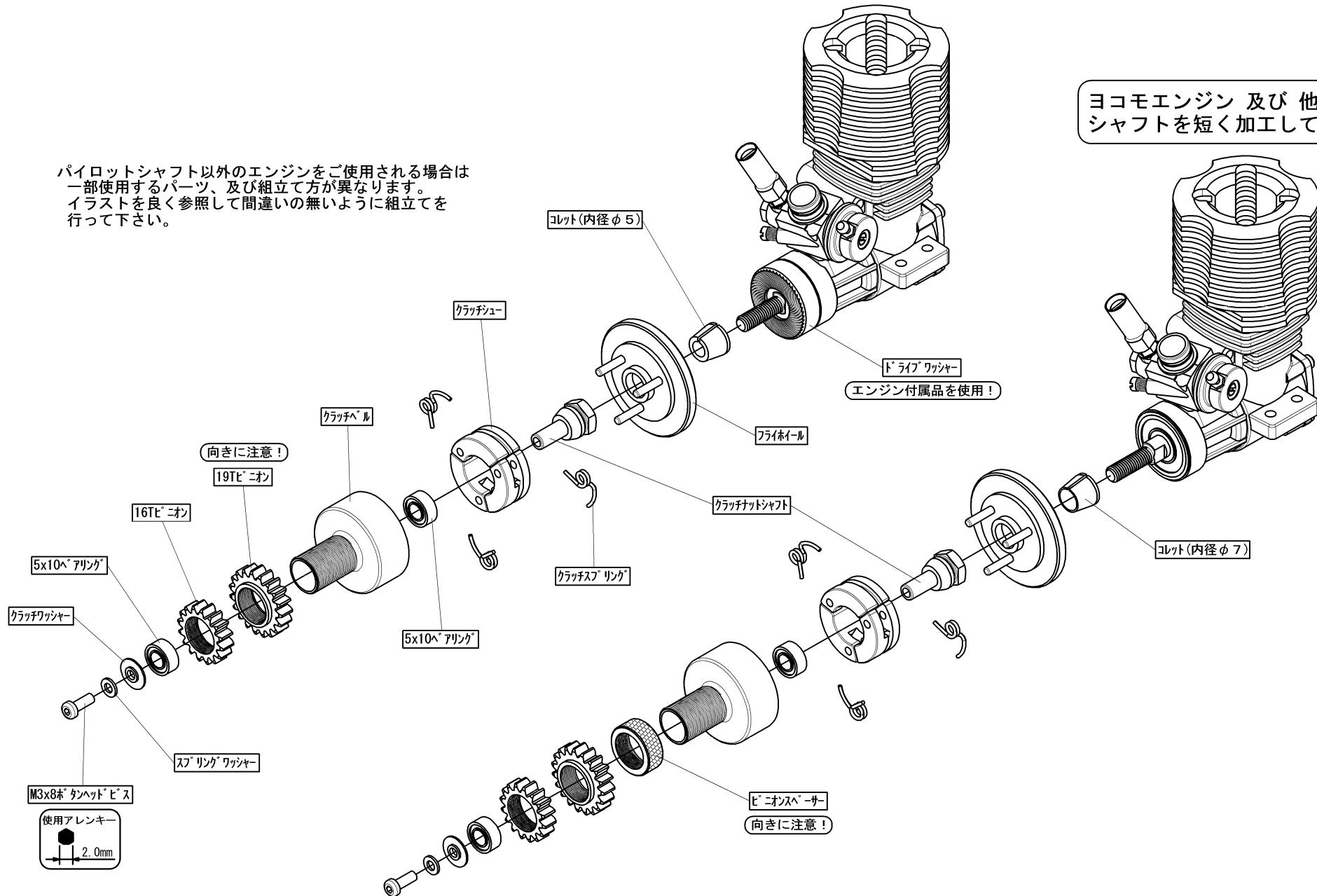
バックラッシュの調整はスパーギヤとピニオンの間に紙一枚をはさみこみエンジンをスパーギヤ側にずらす。ずらした状態でスパーギヤを数回動かし、M4×15皿ビスを本締めする。

注意! --このビスは非常にゆるみやすい為、確実に締めつけて下さい。なお、バックラッシュの調整不足はギヤノイズや破損の原因になりますので、慎重に作業を行って下さい。

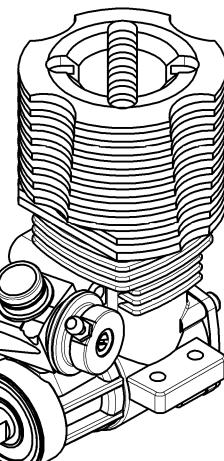
6 パイロットシャフト以外のエンジン

最も一般的なネジシャフト ドライブワッシャー付エンジンの場合

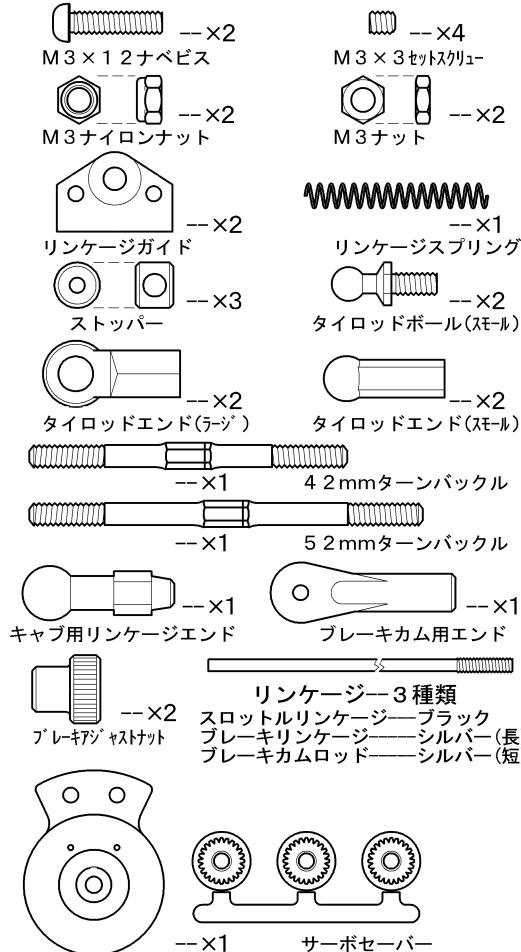
パイロットシャフト以外のエンジンをご使用される場合は一部使用するパーツ、及び組立て方が異なります。イラストを良く参照して間違いの無いように組立てを行って下さい。



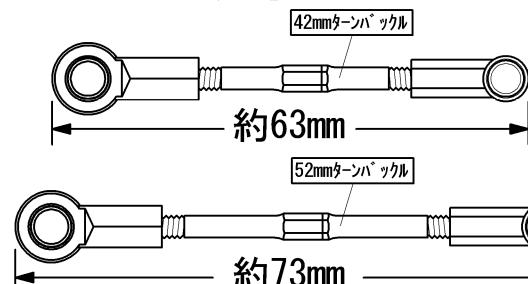
ヨコモエンジン 及び 他社エンジンで
シャフトを短く加工してご使用の場合



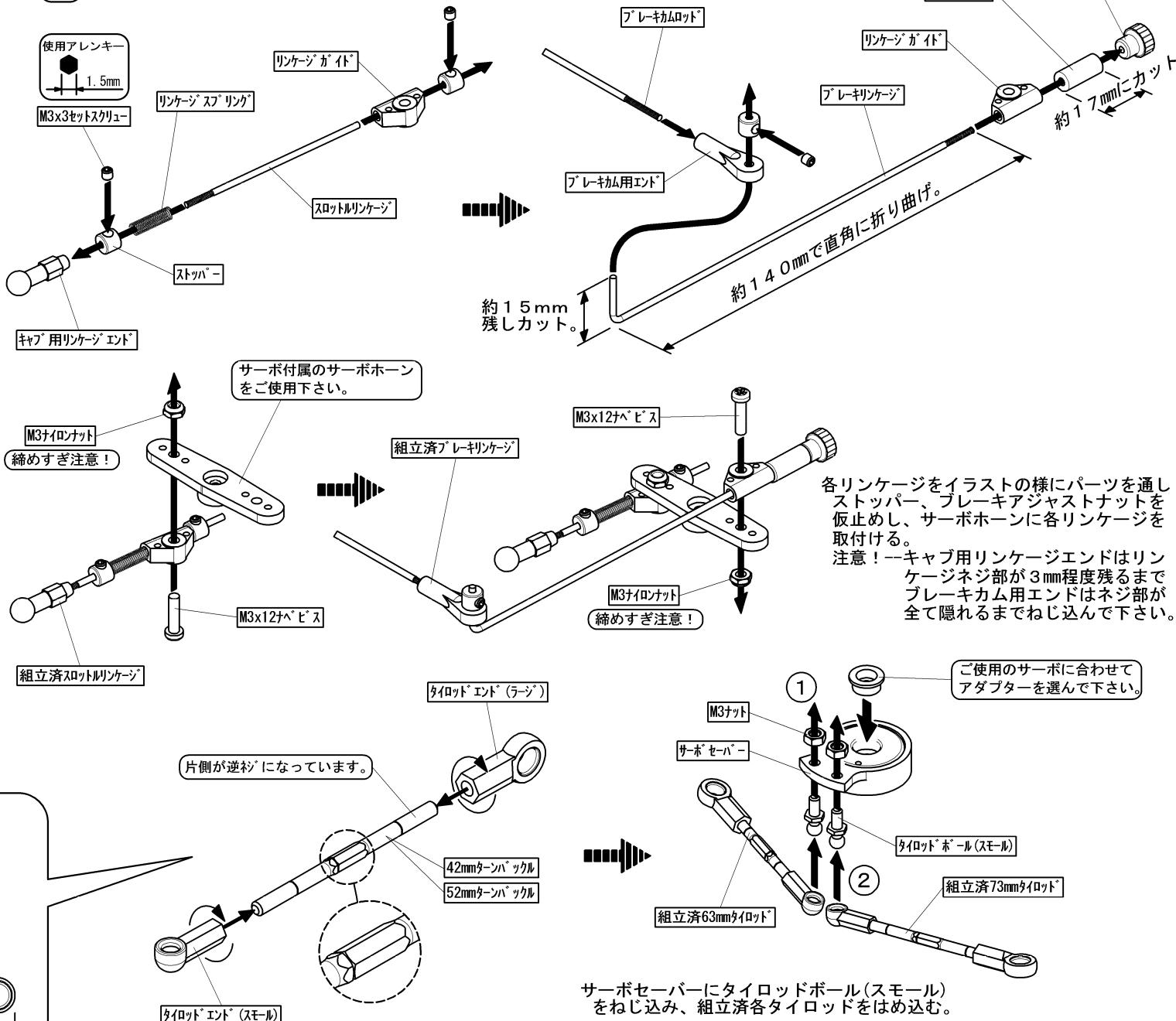
【袋一⑦ の内容】



タイロッドの長さをそろえて下さい。



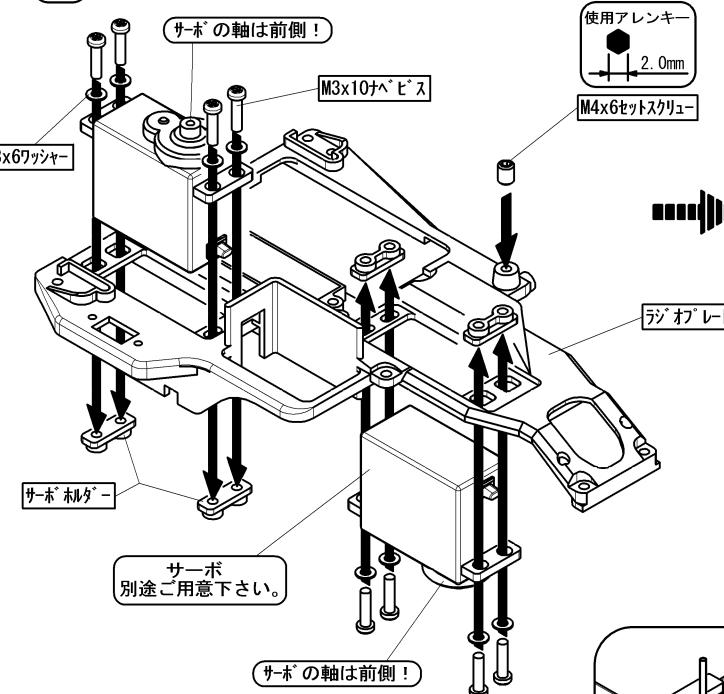
8 リンケージ&タイロッドの組立て



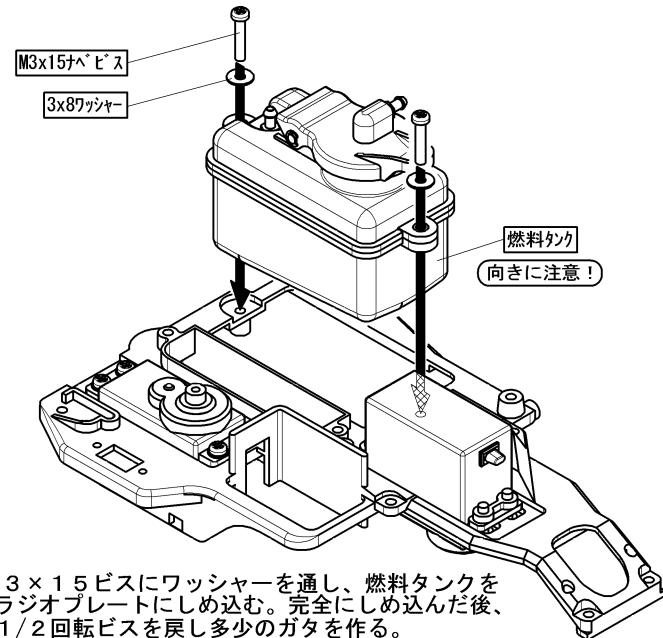
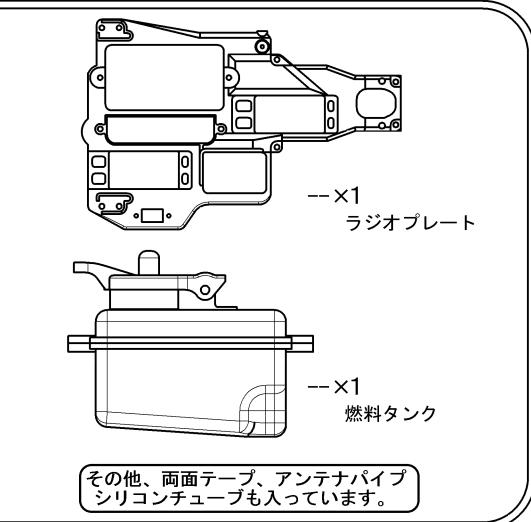
【袋一⑧の内容】

	--x4	M4×10皿ビスビス
	--x10	M3×10ナベビス
	--x6	M3×15ナベビス
	--x2	M3×18ナベビス
	--x2	M3×22ナベビス
	----x1	M4×6セットスクリュー
	----x8	3×6 ワッシャー
	----x2	3×8 ワッシャー
	--x4	サーボホルダー
	--x1	プレートポスト(レフト)
	--x1	プレートポスト(ライト)
	--x1	プレートサポート(レフト)
	--x1	プレートサポート(ライト)
	--x1	ロールバー

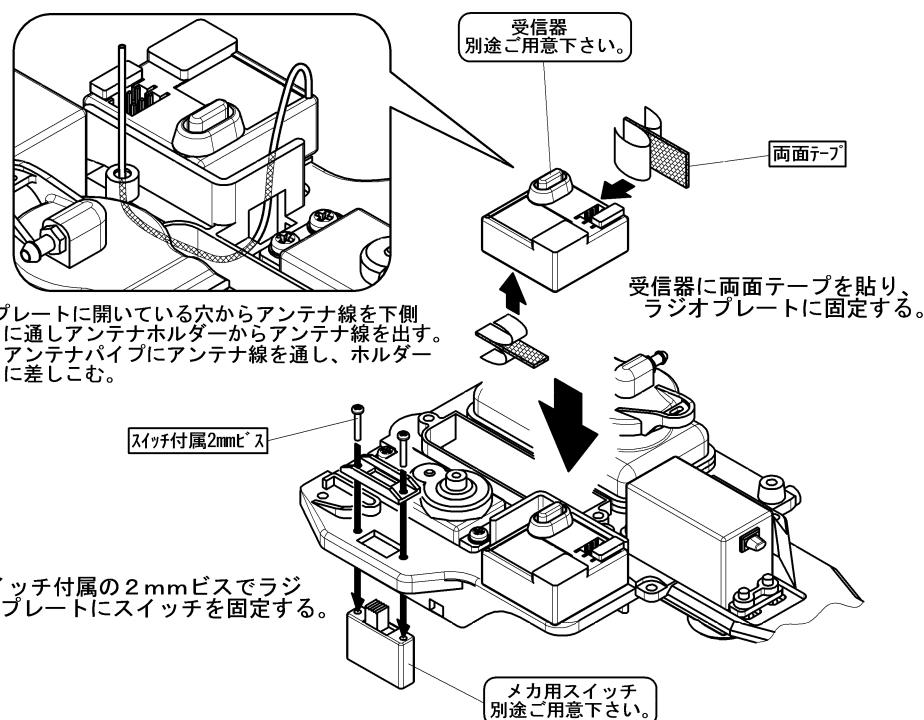
9 ラジオプレートの組立て



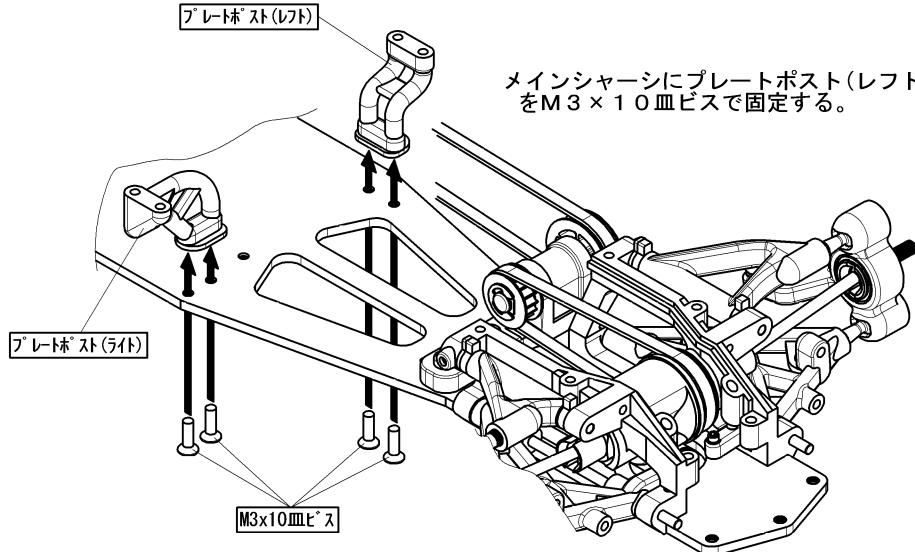
ラジオプレートにサーボを差しこみ、M3×10ナベビスにワッシャーを通して、サーボホルダーに固定する。M4×6セットスクリューは仮止め程度にねじ込む。



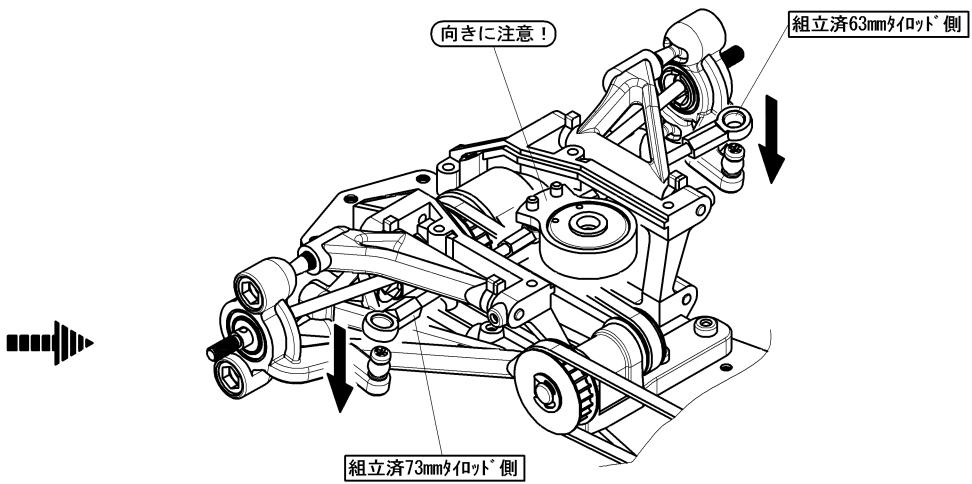
M3×15ビスにワッシャーを通して、燃料タンクをラジオプレートにしめ込む。完全にしめ込んだ後、1/2回転ビスを戻し多少のガタを作る。



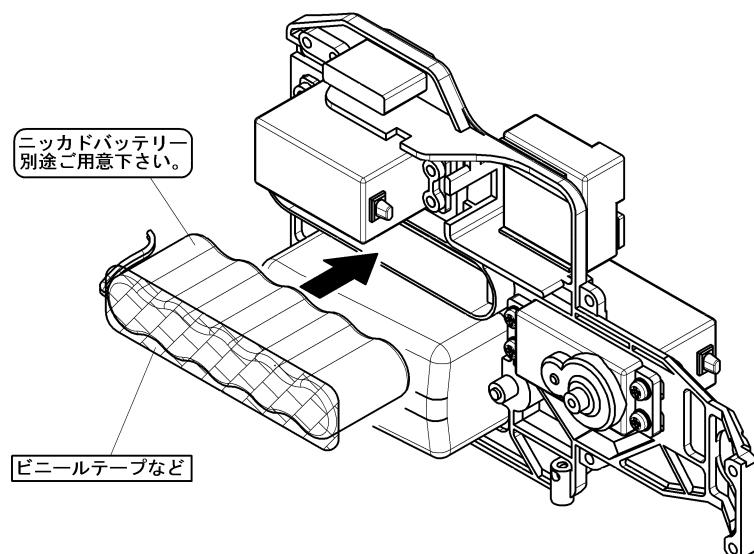
9 ラジオプレートの組立て



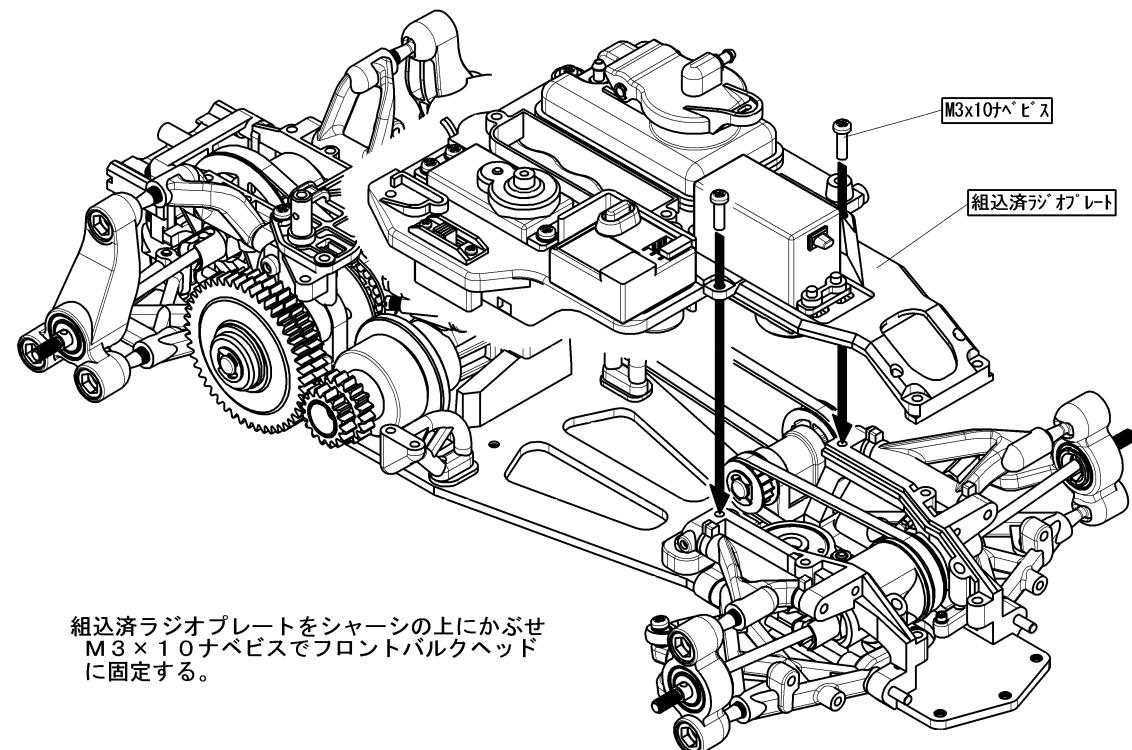
メインシャーシにプレートポスト(レフト&ライト)をM3×10皿ビスで固定する。



組立済タイロッドをフロントバルクヘッドの間に通し、
タイロッドボール(ラージ)にはめ込む。



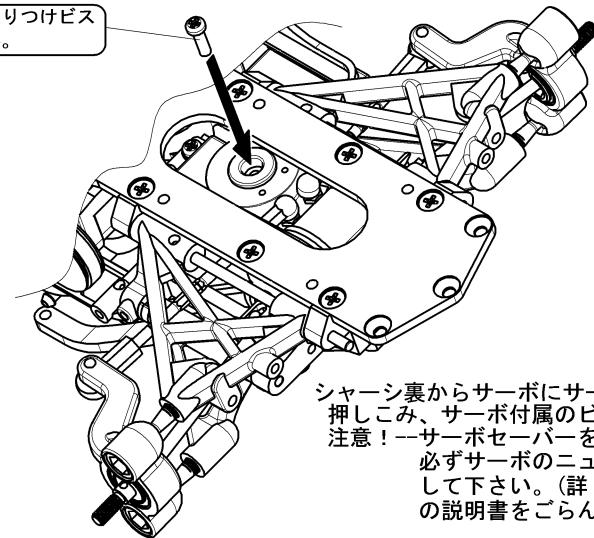
ニッカドバッテリーをラジオプレート下側から
しっかりと押こむ。
注意!バッテリー底面にビニールテープなど
絶縁体を必ず貼りつけて下さい。
(チューブが破れた場合、ショートし
大変危険です。)



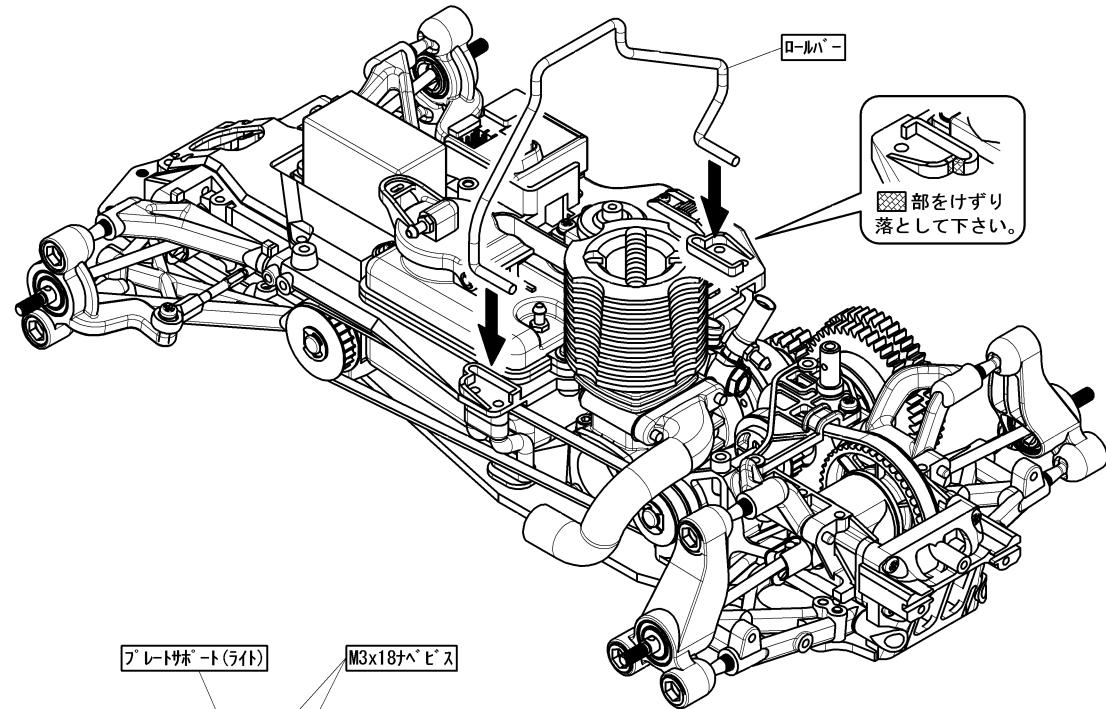
組込済ラジオプレートをシャーシの上にかぶせ
M3×10ナベビスでフロントバルクヘッド
に固定する。

9 ラジオプレートの組立て

サーボ付属の取りつけビス
をご使用下さい。

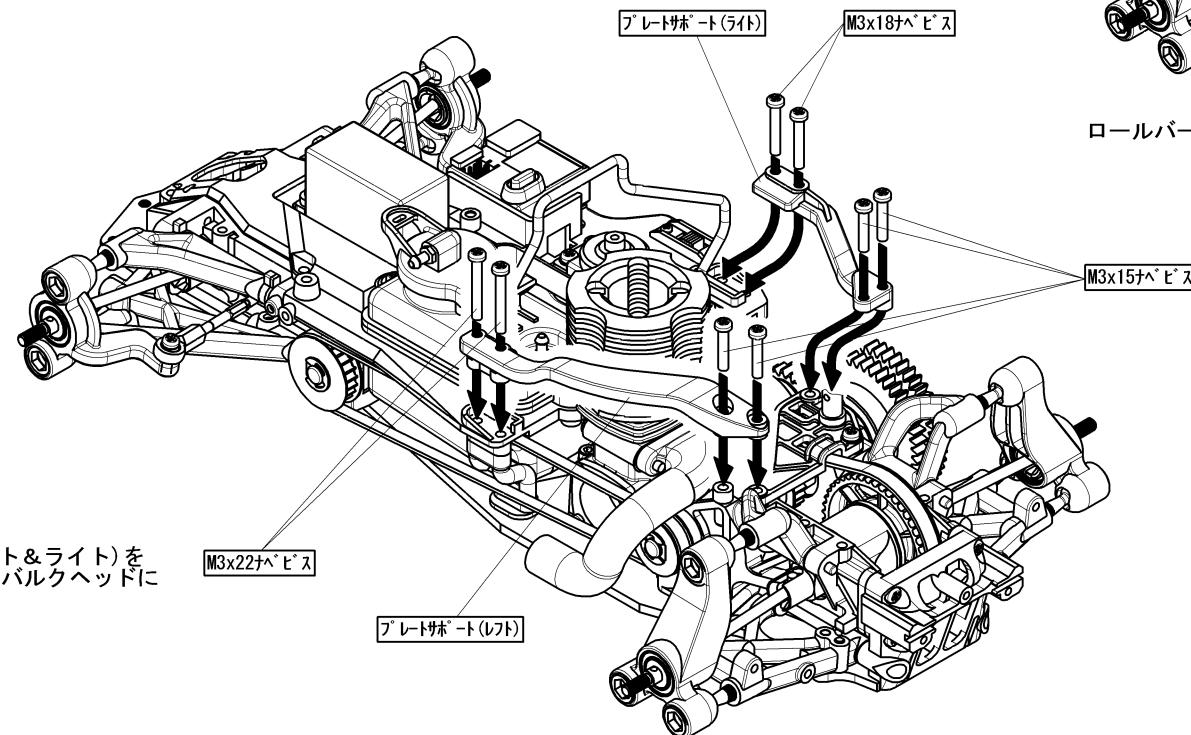


シャーシ裏からサーボにサーボセーバーを
押しこみ、サーボ付属のビスで固定する。
注意！—サーボセーバーを取り付ける前に
必ずサーボのニュートラルを出
して下さい。(詳しくはプロポ
の説明書をごらん下さい。)

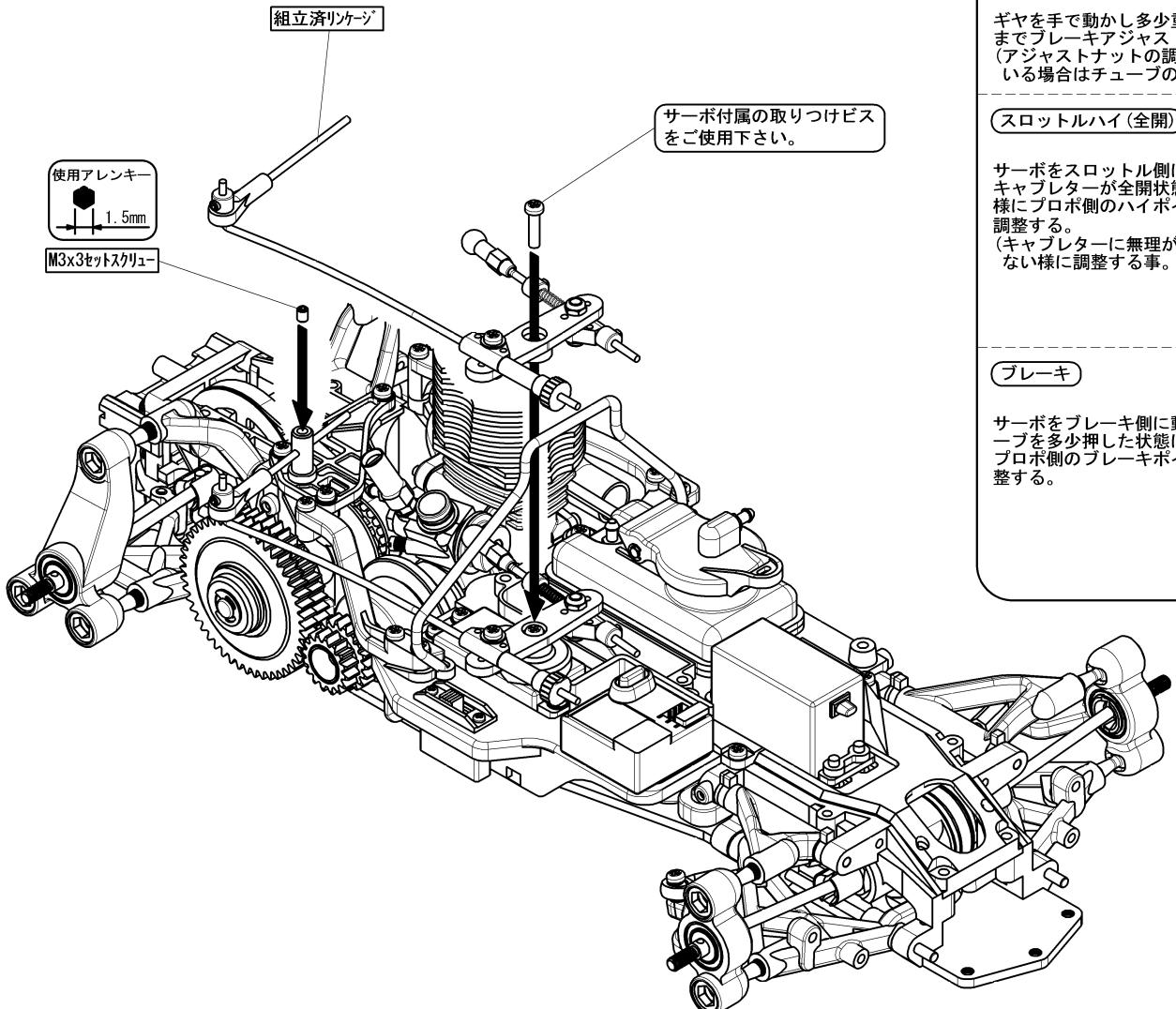


ロールバーをラジオプレートのミゾにはめ込む。

プレートサポート(レフト&ライト)を
ラジオプレートとリアバルクヘッドに
それぞれ固定する。



10 リンケージの取付け



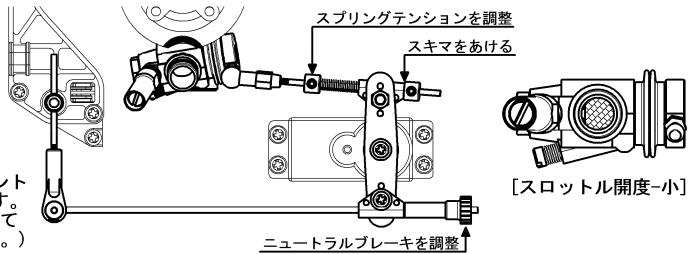
リンケージの調整

※サーボ舵角はプロポのハイポイント及びブレーキポイントで調整して下さい。

ニュートラル

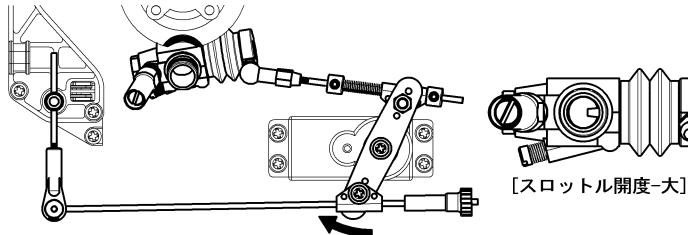
サーボがニュートラルの状態で
リンケージガイドとストッパーの
間にわずかなスキマをあける。
(スプリングが張りすぎる
場合はカットする。)

ギヤを手で動かし多少重くなるポイント
までブレーキアジャストナットを回す。
(アジャストナットの調整範囲を超えて
いる場合はチューブの長さを変える。)



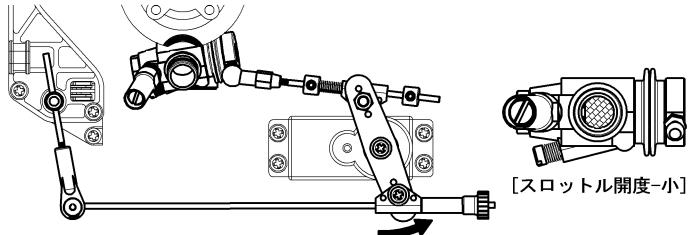
スロットルハイ(全開)

サーボをスロットル側に動かし
キャブレターが全開状態になる
様にプロポ側のハイポイントを
調整する。
(キャブレターに無理が掛から
ない様に調整する事。)



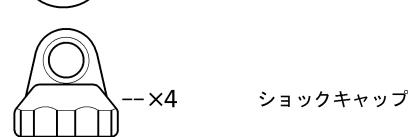
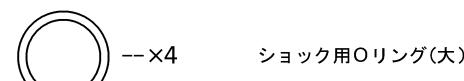
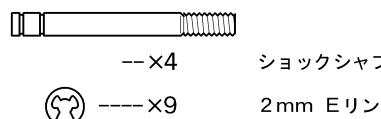
ブレーキ

サーボをブレーキ側に動かしチュ
ーブを多少押した状態になる様に
プロポ側のブレーキポイントを調
整する。

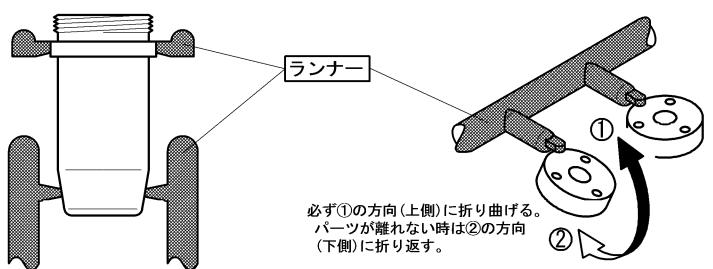
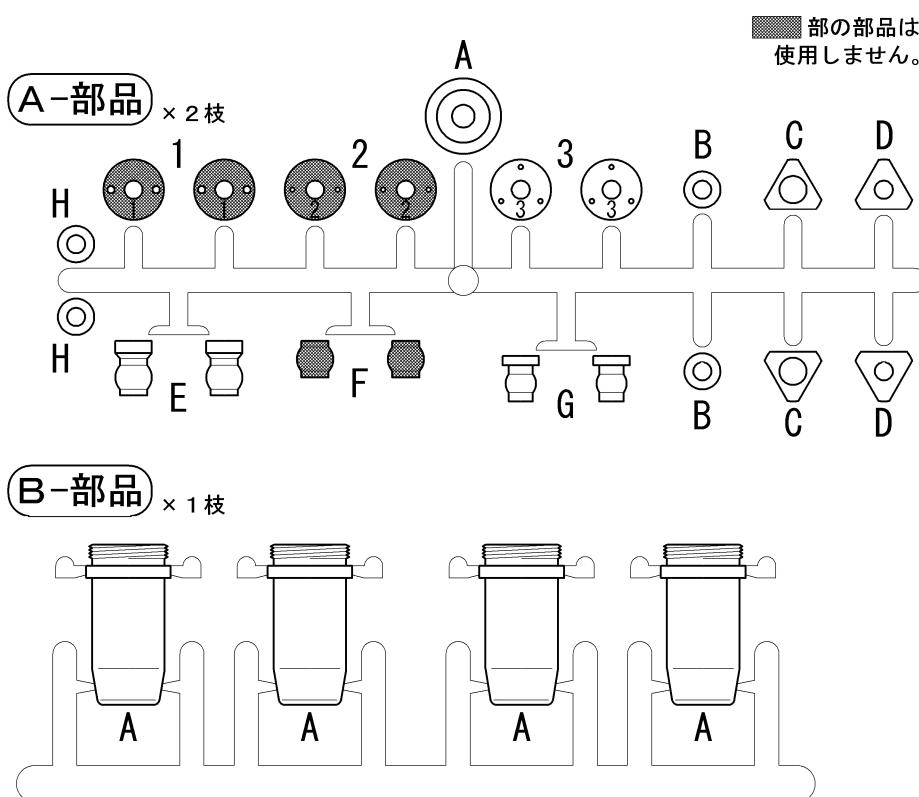


組立済リンクエージのブレーキ側をカムに通し
M3×3セットスクリューで固定する。
スロットル側はキャブレターボールにはめ込み
最後にサーボホーンをサーボ付属のビスで固定する。
注意! --サーボホーンを取付ける前に必ずサーボの
ニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポの説明書をごらん下さい。)
リンクエージを取り付けたら上記[リンクエージの
調整]を必ず実行して下さい。

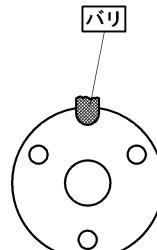
【袋-⑨ の内容】



M2×5 タッピングビス

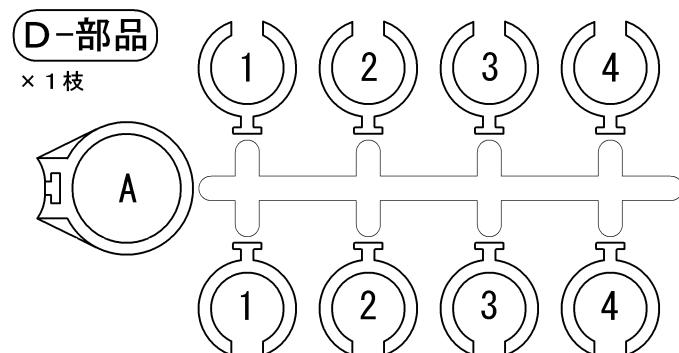


【各ランナーから使用するパートを切り離す】



【バリはカッターで切り落とす】

- ランナーからパートを切り離す際は、図の様に折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離して下さい。なお、パートにバリなどが残ってしまった場合は、カッターなどで丁寧に切り落として下さい。
((A-部品)は主にダンパー内部で使用するパートの為、バリなどは絶対に残さないで下さい。バリが残っているとダンパーがスムーズに動かなくなります。)



【このページの使用パーツ】

	--×4	ショックシャフト
	--×9	2mm Eリング
	--×8	ショック用Oリング(小)
	--×4	ショック用スポンジ
	--×4	ショック用Oリング(大)

[A-部品]

	A-3 ×4	ピストン
	A-A ×2	押し込み用ジグ (組立て用のツールです)
	A-B ×4	シャフトガイド
	A-C ×4	カラー(A)
	A-D ×4	カラー(B)
	A-E ×4	エンドボール(大)

[B-部品]

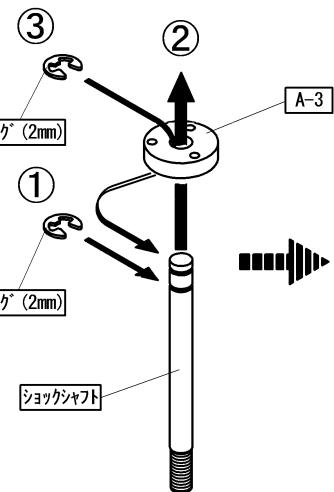
	B-A ×4	ショックシリンダー
--	--------	-----------

[C-部品]

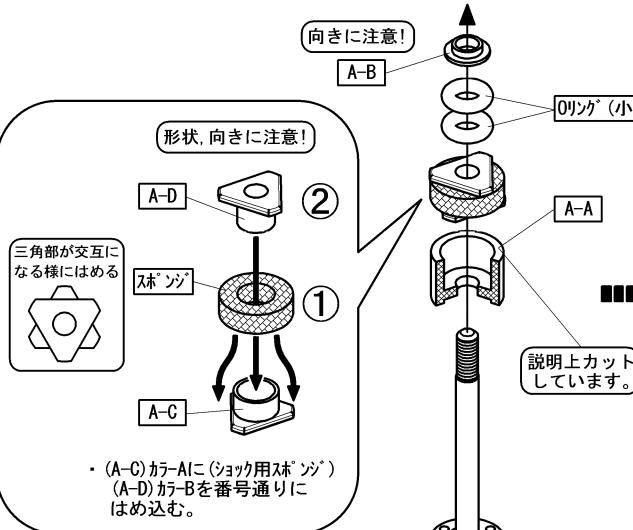
	C-A ×4	ダンパー端
--	--------	-------

・ショックオイルはキット箱に入っています。

11 前後ダンパーの組立て(本体編-4本作ります。)

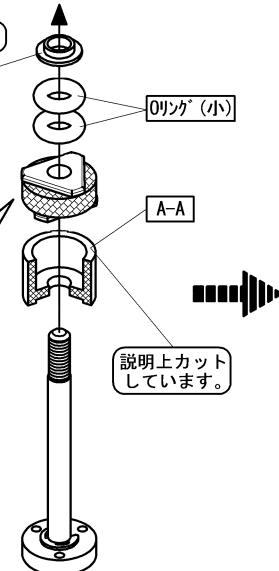


・(ショックシャフト)に(2mmEリング), (A-3)ピストンを番号通りにはめ込む。

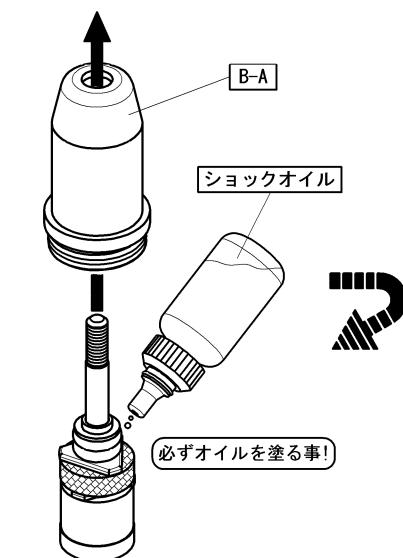


・(A-C)カラーアに(ショック用スポンジ)
(A-D)カラーブを番号通りにはめ込む。

・ショックシャフトASSYに上記部品を通す。
(バーツの向きに注意!)



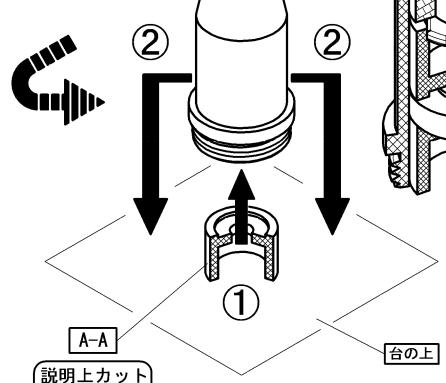
・Oリング周辺, スポンジにショックオイルを塗り
(B-A)ショックシリンダーの中にピストンが
隠れる位まで押込む。



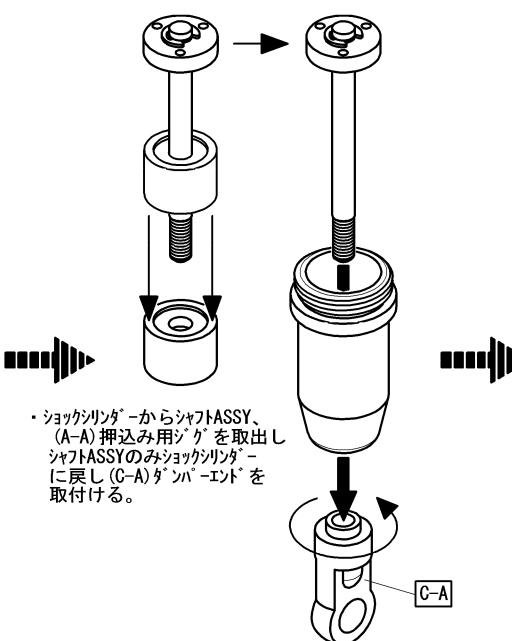
必ずオイルを塗る事!

・ショックシリンダーの先端がショックシリンダーと面一になるまでショックシリンダーを押込む。

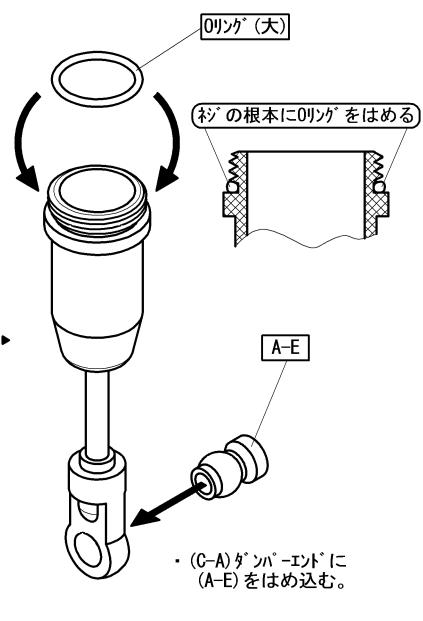
・ショックシリンダーに残りの(A-A)押し込み用ジグをはめ込み, 台の上などでショックシリンダーを押込む。



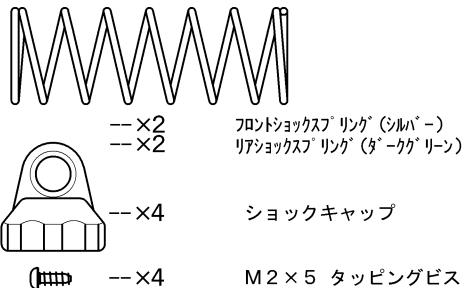
・ショックシリンダーからシャフトASSY、
(A-A)押し込み用ジグを取り出し
シャフトASSYのみショックシリンダーに戻し(C-A)ダンパー端を取付ける。



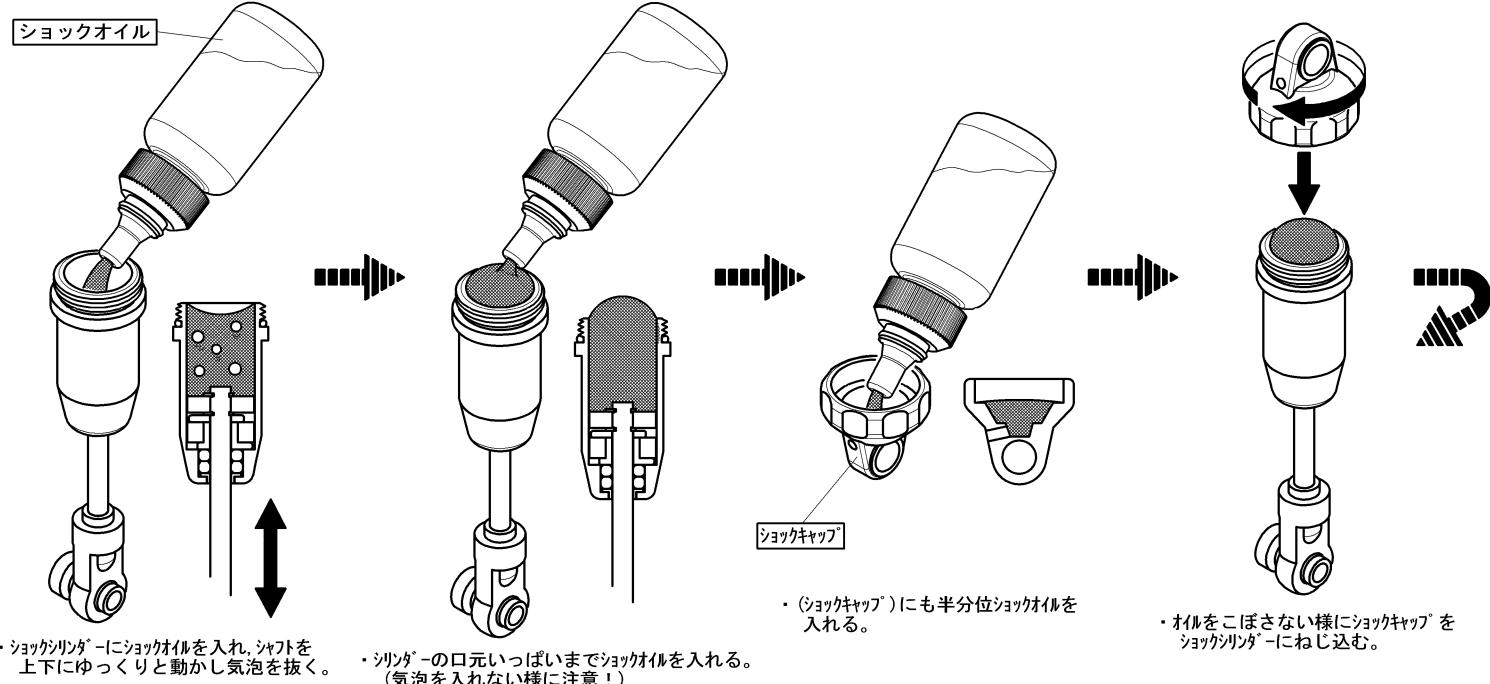
・(C-A)ダンパー端に(A-E)をはめ込む。



【このページの使用パーツ】



11 前後ダンパーの組立て(オイル注入編-4本作ります。)



ティッシュペーパー

M2x5タッピングビス

フロント用には3番(4mm厚)を1枚



C-C

D-3

D-1

D-2

リア用には1番(1mm厚)と2番(2mm厚)を各1枚ずつ入れる。

・ショックシリンダーに(D-1～3)セッティングスペーサー、(C-C)スプリングガイド、ショックスプリングの順にはめていく。

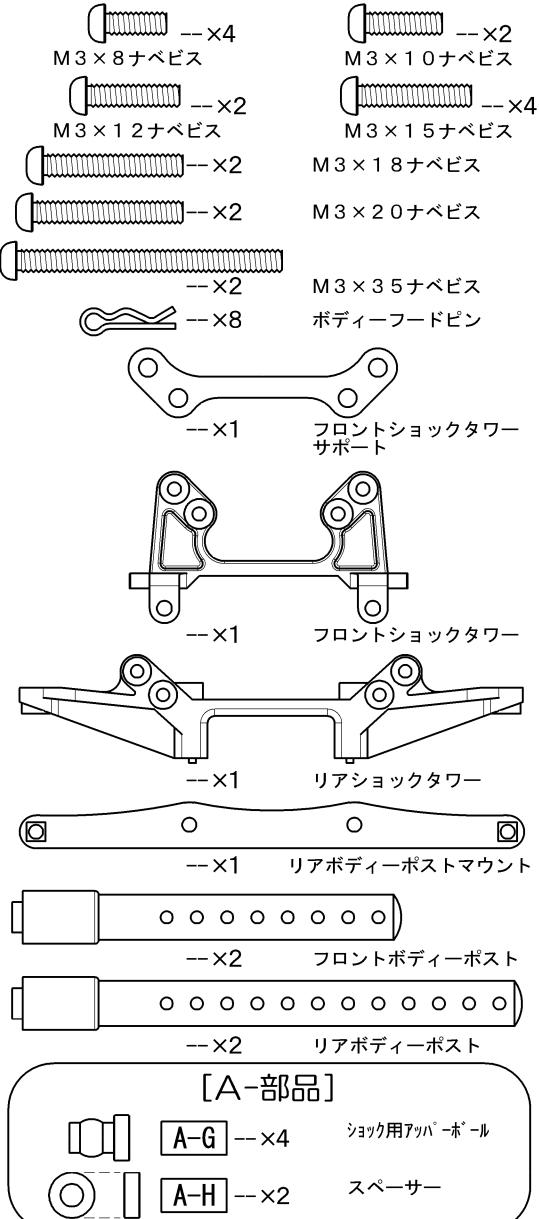
・ショックシリンダーに(0-1～3)セッティングスペーザー、(C-B)スプリングストッパーを押上げながら(C-B)スプリングストッパーをシャフトにはめ込む。

ダンパーの完成！

・ショックシリンダーにティッシュペーパーを巻き付け
ショックシヤフトが止まるまで、ゆっくりと
押上げる。
(オイルが出て来ない場合はダンパー本体を台の
上などに置き、ショックキャップのオイル噴出口から
ショックオイルを入れながらシヤフトを少しずつ引いて
注入して下さい。)

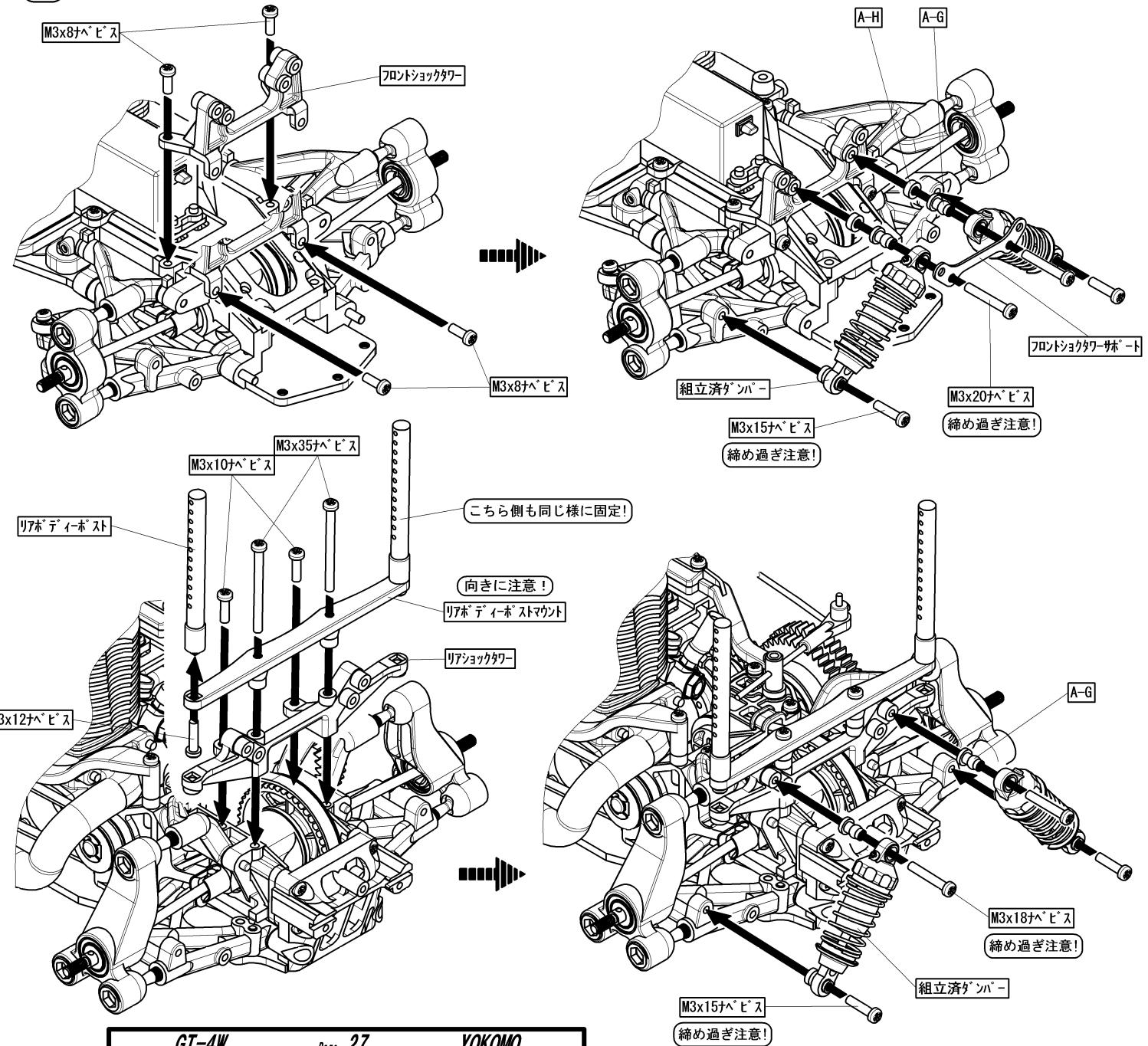
・(M2x5タッピングビス)をショックキャップの
オイル噴出口にしっかりとねじ込み
ショックシヤフトをいっぱいまで、ゆっくりと
引出す。
(ねじ込みが緩いとオイルが漏れていきます。
シヤフトを引出しても多少戻ります。)

【袋-⑩ の内容】



フロント&リアショックタワーをそれぞれ固定し
組立済ダンパーを取付ける。
注意! --ダンパーを取付けるビスは締めすぎない
様にして下さい。樹脂ボールがつぶれ、
動きが悪くなります。

12 前後ショックタワー&ダンパーの取付け



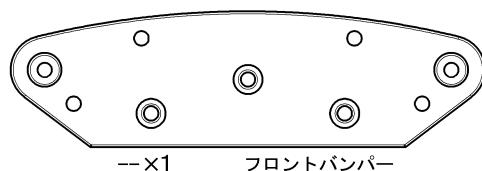
【袋一(1) の内容】

--×3 M3.5×10皿タッピングビス

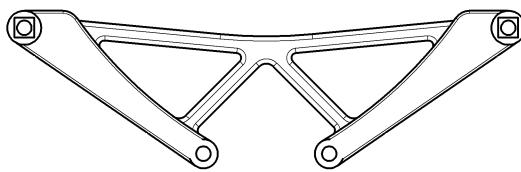
--×2 M3×18皿ビス

--×2 M3×10ナベビス

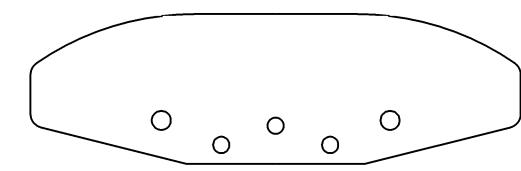
--×2 M3×15ナベビス



--×1 フロントバンパー

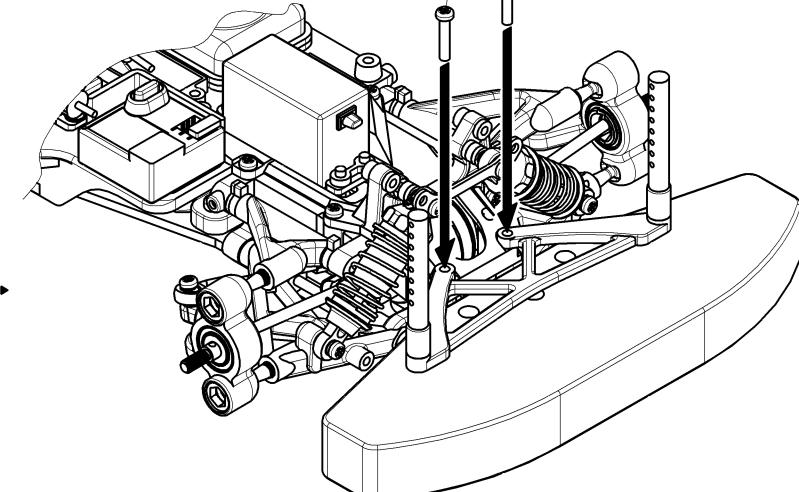
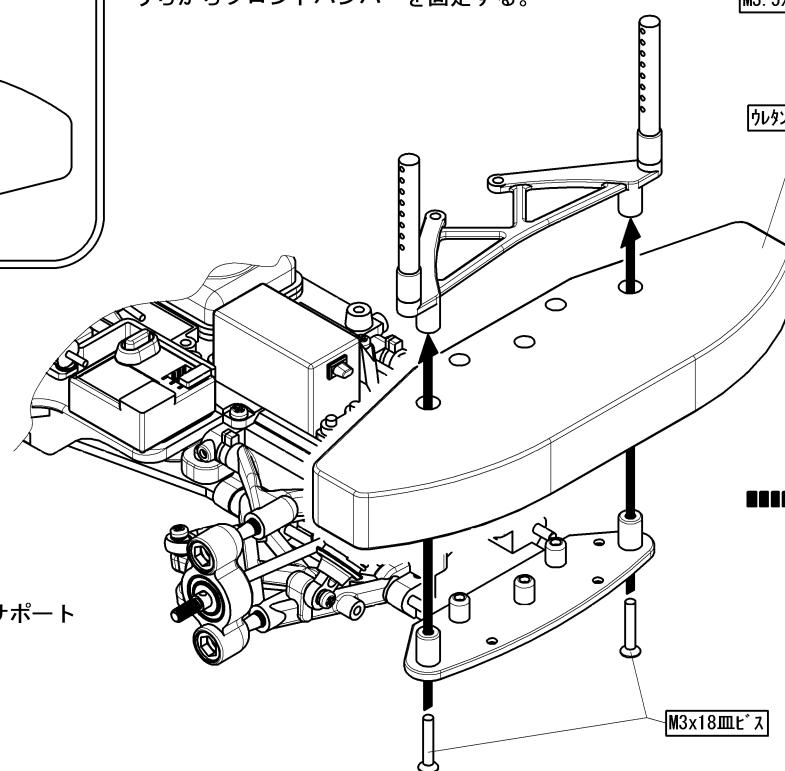
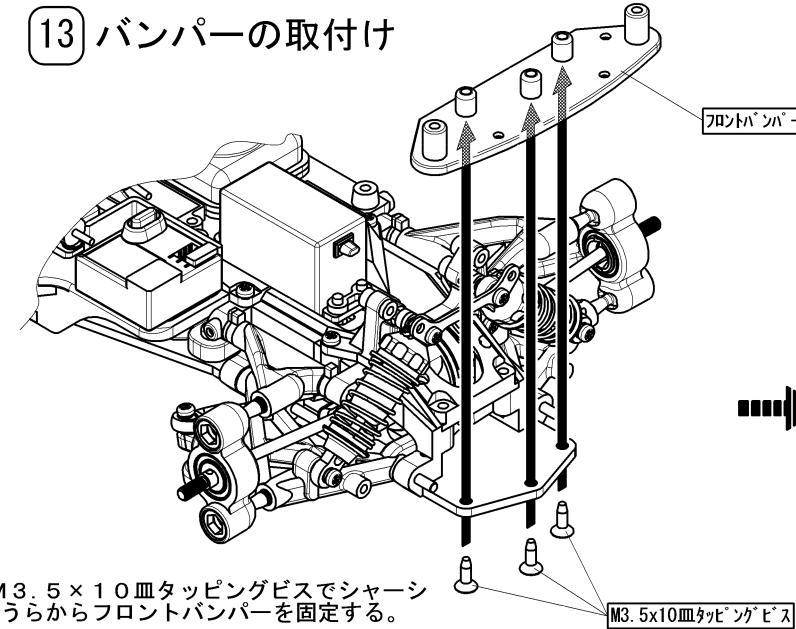


--×1 バンパーサポート



--×1 ウレタンバンパー

13 バンパーの取付け

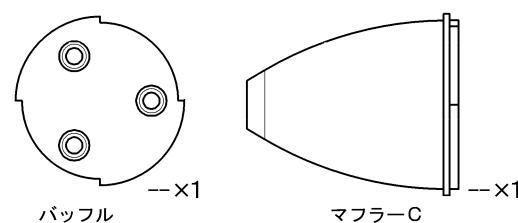
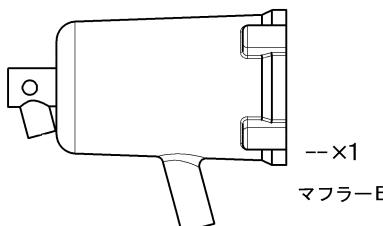
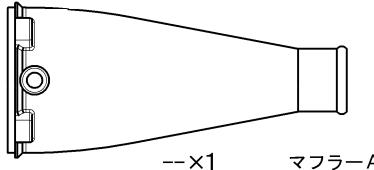
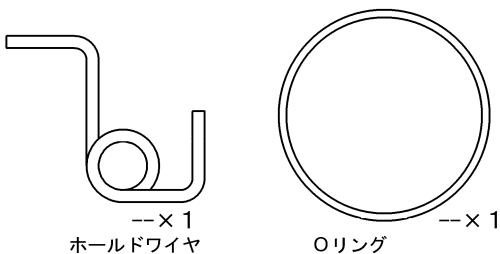


ウレタンバンパーを押しこみバンパーサポートをM3×18皿ビスで固定する。

【袋-⑫の内容】

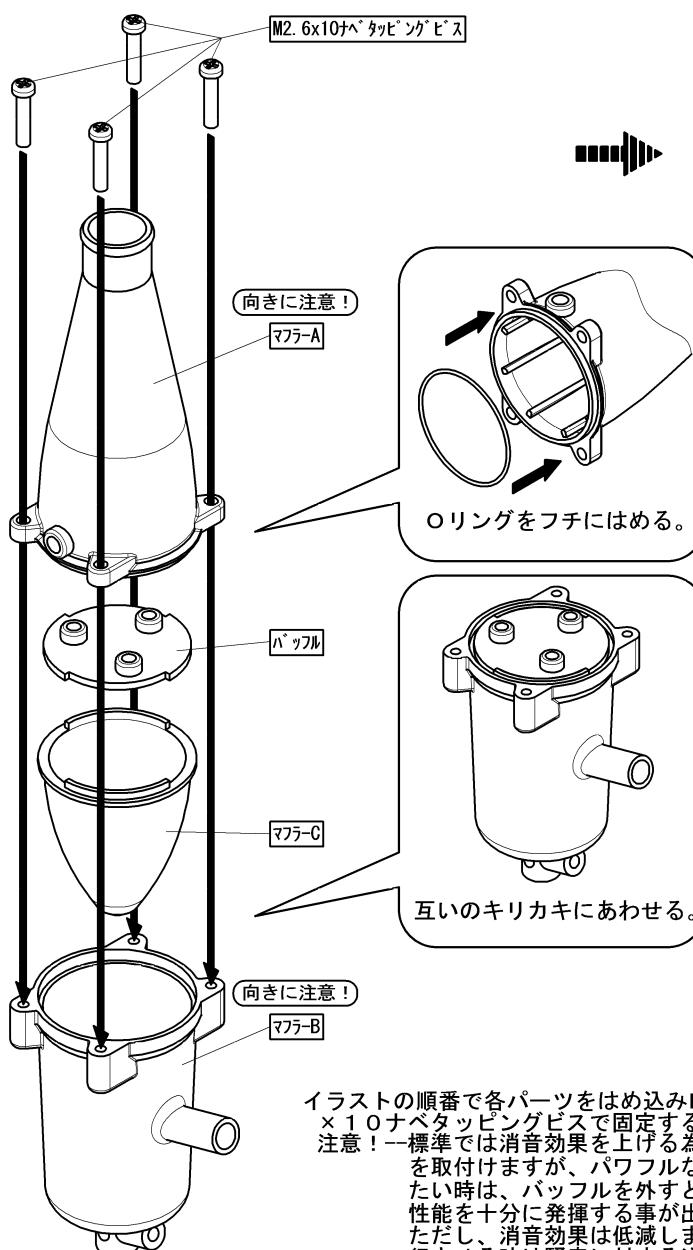
シャーシキットの場合は下記パーツは付属しません。
[ZE-651] [ZE-652] [ZE-654]
を別途お買い求め下さい。

- x4 M2.6×10ナベタッピングビス
- x1 M3×4セットスクリュー
- x1 マフラーニップル

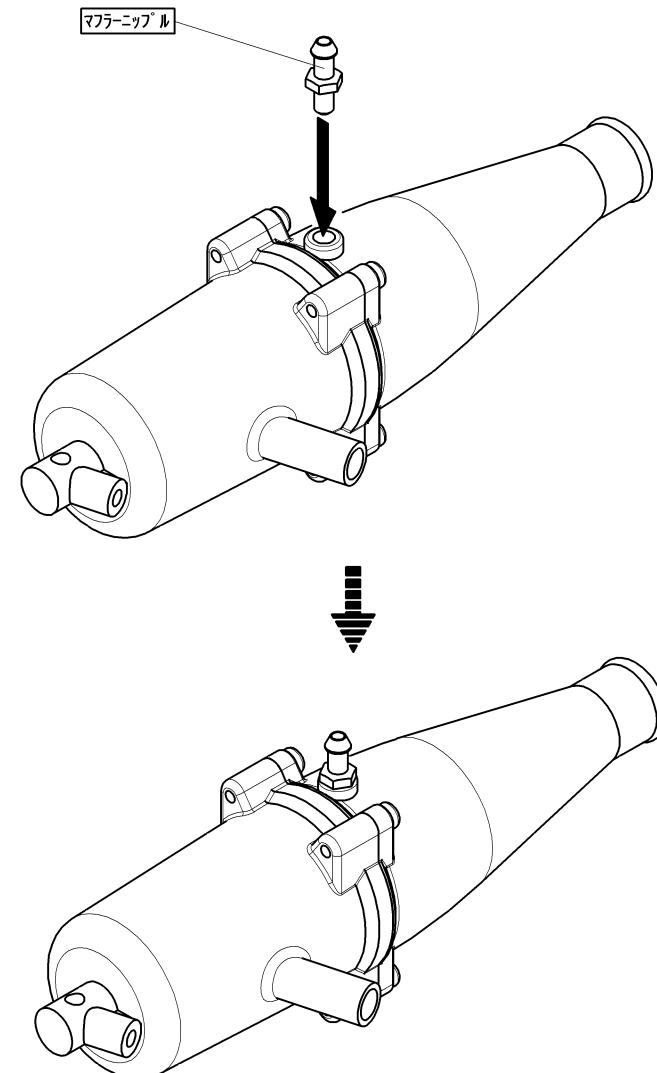


その他、シリコンパイプ、ナイロン
タイラップも入っています。

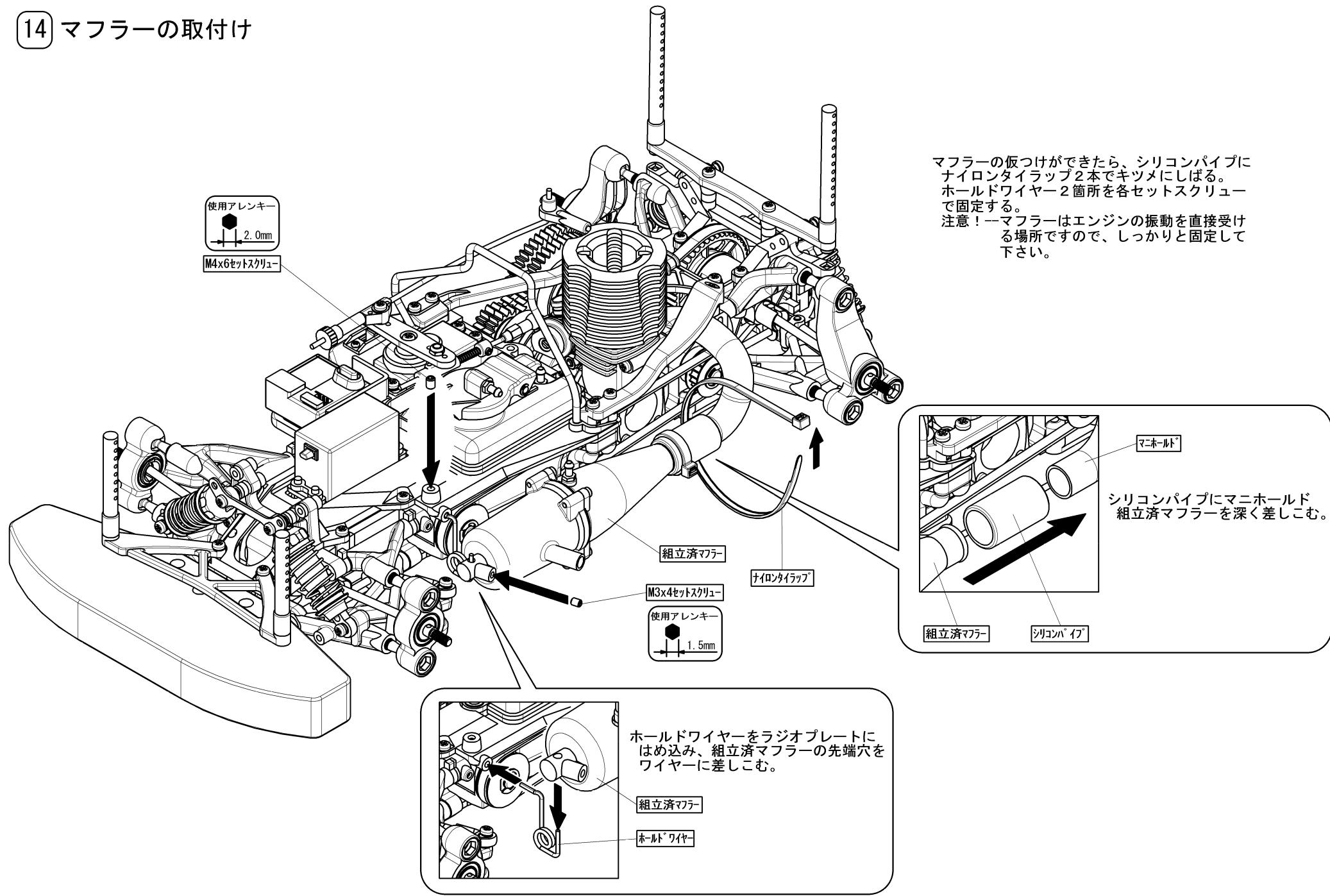
14 マフラーの組立て



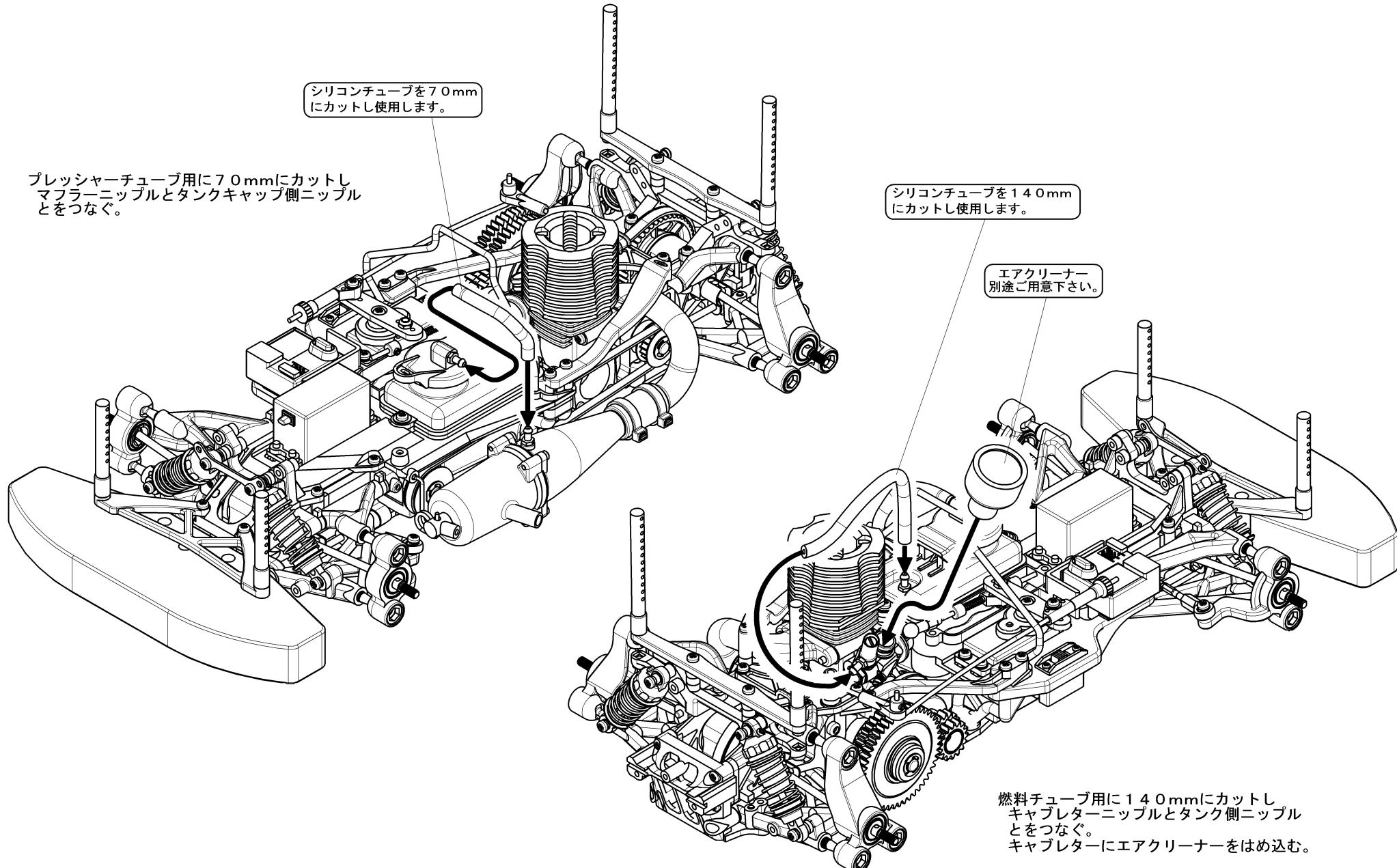
イラストの順番で各パーツをはめ込みM2.6
×10ナベタッピングビスで固定する。
注意!一標準では消音効果を上げる為、バッフル
を取り付けますが、パワフルな走行を行いたい時
は、バッフルを取り外すとエンジンの
性能を十分に発揮する事が出来ます。
ただし、消音効果は低減しますので、走行させる
時は騒音に対する注意が必要です。



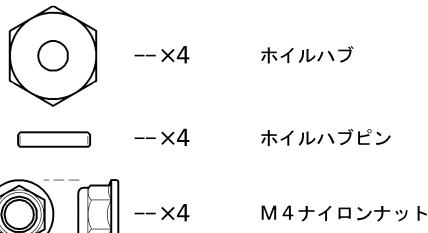
14 マフラーの取付け



15 シリコンチューブ&エアクリーナーの取付け

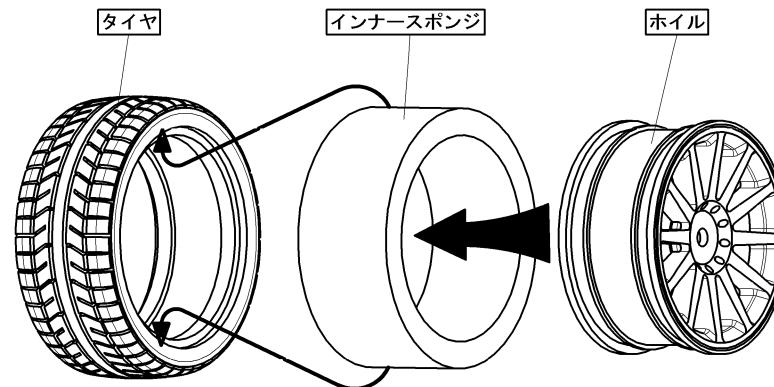


【袋一(13) の内容】



16 タイヤの接着＆タイヤ装着取付け

・タイヤにインナースポンジを押込み、タイヤのリブをホイルの溝にはめこむ。
(タイヤ、インナースポンジ、ホイルは、キット箱に入っています。)



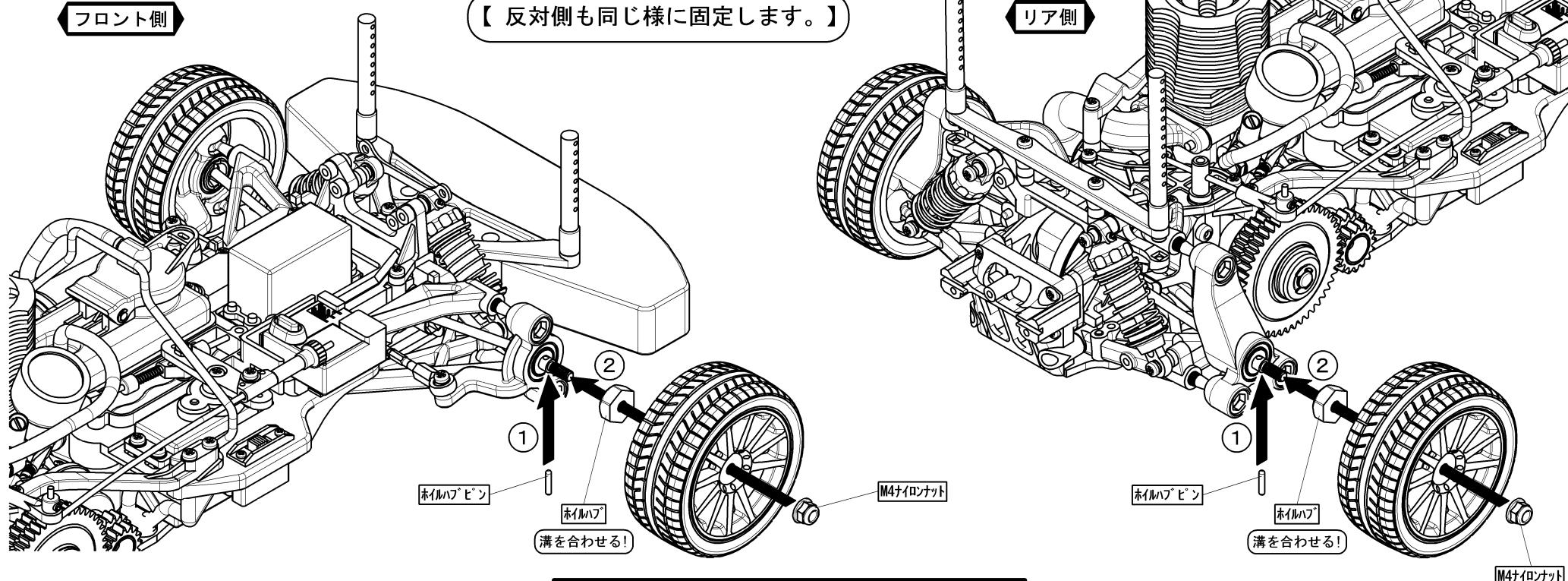
・タイヤのサイドをめくり、ホイルとの隙間に
瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着する。



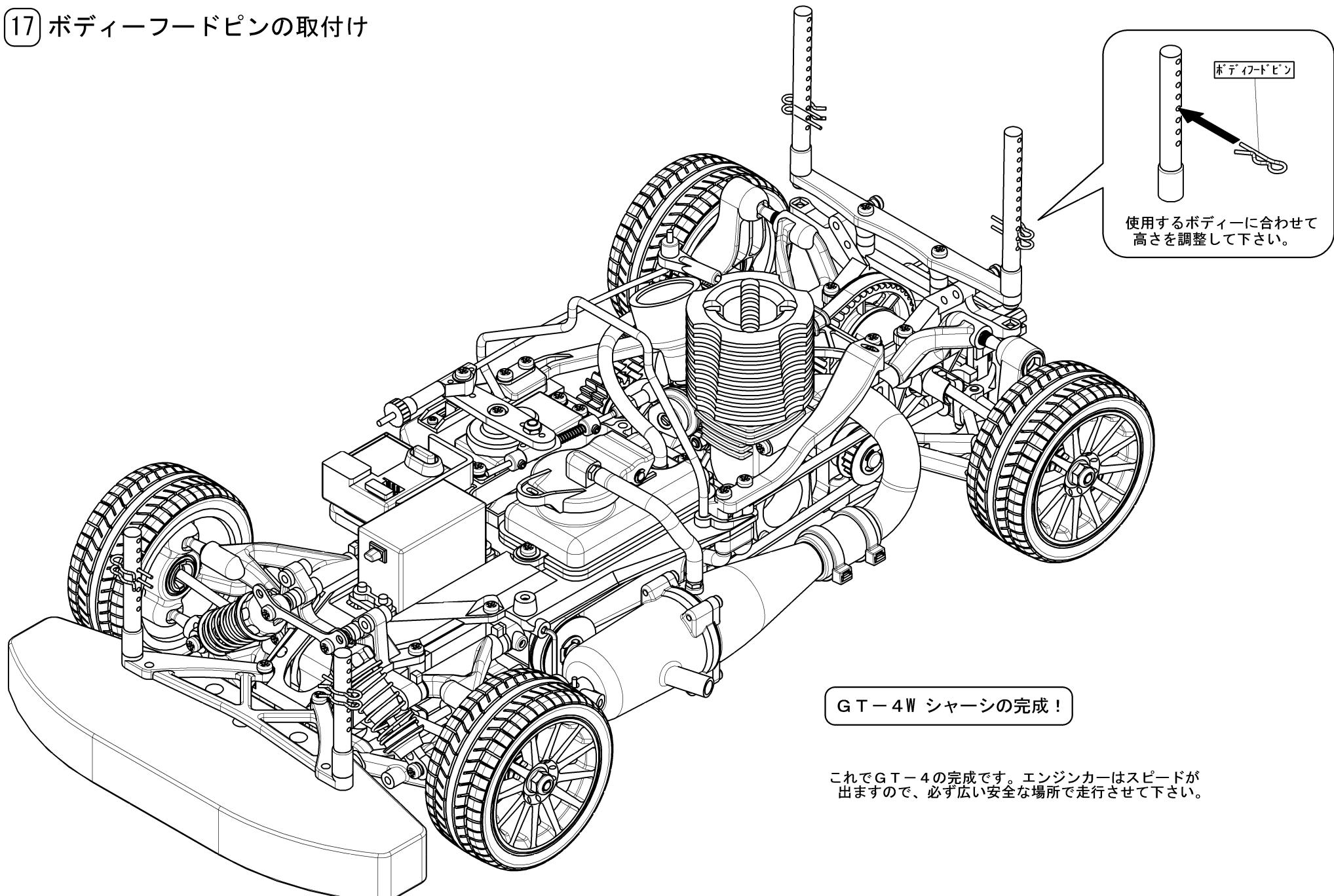
フロント側

【 反対側も同じ様に固定します。】

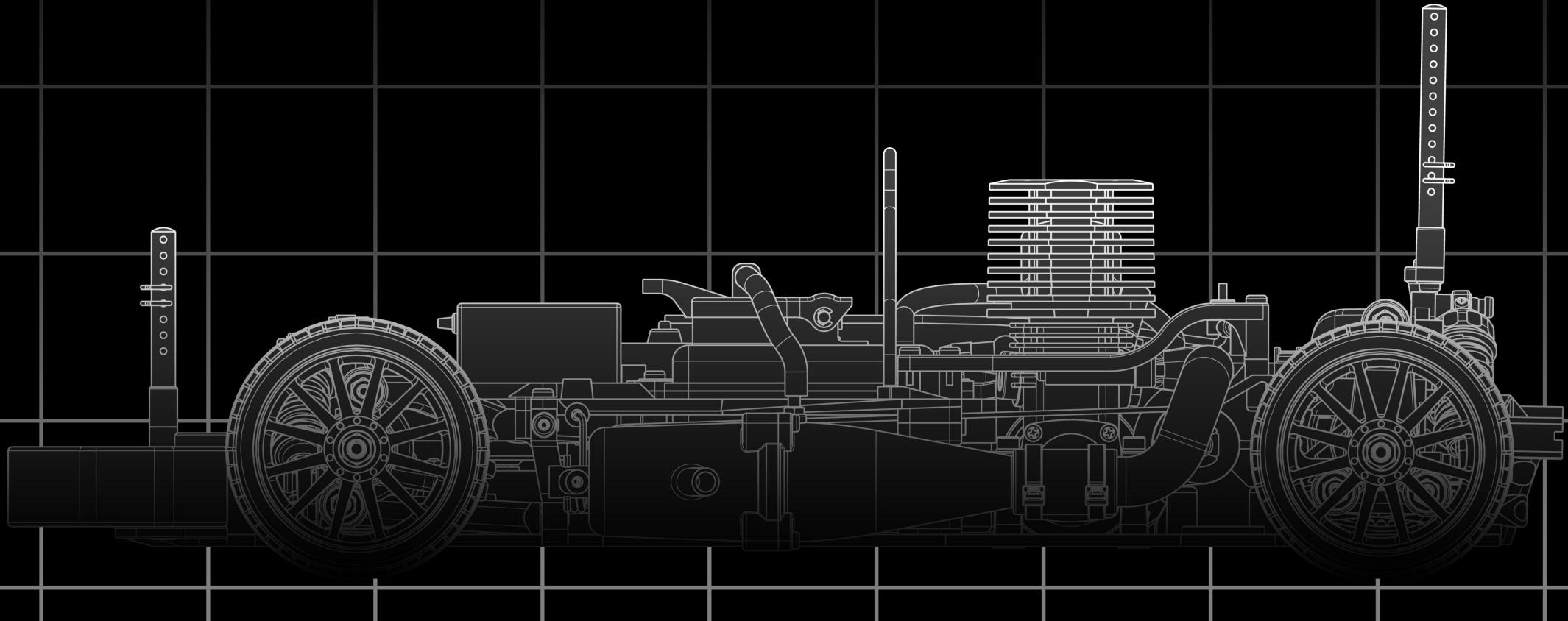
リア側



17 ボディーフードピンの取付け



**As a manufacturer of World Championship winning cars,
Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.
Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.**



World Champions



世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用R/Cカー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そしてR/Cカーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中のR/Cカーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7 <http://www.yokomo.co.jp>
TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552 営業時間：9時～12時 13時～17時（祝祭日を除く月～金）



YOKOMO USA INC. 17951 SKY PARK CIRCLE, BLD. 35 SUITE K, IRVINE, CA. 92614 U.S.A.
<http://www.yokomousa.com> TEL 949-252-8663 FAX 949-252-8657